

明治十六年七月七日發行

今田昂德烈譯



聖略傳

明治十六年七月 正教會

諸聖略傳第三卷目録

諸聖略傳第三卷目録

三月之部

- 一日 大致命者聖 フェオドル テイロン ノ苦難 一丁
- 二 ロマ ノ パーバ 聖 レオ 及ヒ 王城 ノ總主教 フラウアン ノ紀念 十
- 三 使聖徒 アルヒッ 及ヒ フリモン 及ヒ 聖アプフィヤ ノ紀念 十七
- 同 成徳ナルドシフエイ ノ紀念 十九
- 四 カタナ ノ主聖教 レオ ノ紀念 同

同 ペルシヤノ主教神品致命者聖サ

ドノノ紀念 同

五 アンテオヒヤノ主教聖エウスタ

ナイノ紀念 廿一

六 エウケコイ邑ニ於テ聖致命者ノ

聖軀ヲ發見セシ日 廿四

同 聖致命者マウリキイ及ヒ軍士七

十八ノ苦難 廿五

七 スミルナノ主教神品致命者聖ボ

リカルアノ傳 卅五

八 前軀イオアンノ首ヲ初次發見セ

シ日 五十一

九 コンスタンティノールポリ城ノ總主

教聖タラシイノ傳 五十五

十 ガザノ主教ボルフィリイノ紀念

五十七

十一 デカポリノ表信者聖フヒコヒイ

ノ紀念 五十八

十二 アレキサンドリヤノ總主教神品

致命者聖フロテリイノ紀念 五十九

十三 成徳ナル致命女エウドキヤノ傳

七十

十四神品致命者キリヤノ主教聖フェ

オドトノ苦難

九十三

十五聖致命者エウトロピイ、クレオニ

ク及ヒワシリスクノ苦難

百

十六我等ノ父成徳ナルゲラシムノ傳

百十四

同 聖致命者パウエル及ヒイウリアコ

ヤノ傳

百十八

十七イサウリヤノ聖コノンノ紀念

百廿六

十八成徳ナル致念者コノン及ヒ其ノ

子ノ苦難

同

同 アンモリヤニ於テ苦難ヲ受ケシ

諸聖致命者ノ紀念

百三十五

十九ヘルソンニ於テ殺害セラレシ神

品致命者等ノ紀念

百廿九

廿 我等ノ成徳ナル父ニコミディアノ

主教表信者フェオフィラクトノ紀念

百五十一

同 アンテイオヒヤノ司祭聖フィオドリ

トノ紀念

百五十三

廿一セワステイヤ湖ニ於テ難ヲ受ケタ

ル聖致命者四十人ノ苦難

同

廿二ニコミヂヤノ聖致命者コドラト
ノ苦難 百六十五

廿三我等ノ父イエルサリムノ總主教
聖ソフロニイノ紀念 百七十六

同 スミルナノ司祭神品致命者ピオ
ニイノ苦難 百八十二

廿四我等ノ父成徳ナル表信者フエオフ
ンノ傳 二百七

同 我等ノ父ロマノ府ノ「パーバ」問答
者聖グリゴリイノ傳 二百十八

廿五主城ノ總主教表信者聖ニキホル
ノ聖軀遷座式 二百三十

廿六成徳ナルウエチディクトノ傳 二百三十三

廿七聖致命者アガビイ及ヒニカンド
ル及ヒ諸致命者ノ紀念 二百四十

廿八聖使徒ワルナワノ弟聖アリシト
ウルノ紀念 二百四十一

同 聖致命者サウインノ紀念 同

廿九我等ノ父神ノ人成徳ナルアレキ
セイノ傳 同

三十我等ノ父イエルサリムノ大主教

聖キリールノ紀念

二百五十六

卅一聖致命者ハリサンプ及ヒダリヤ

ノ苦難

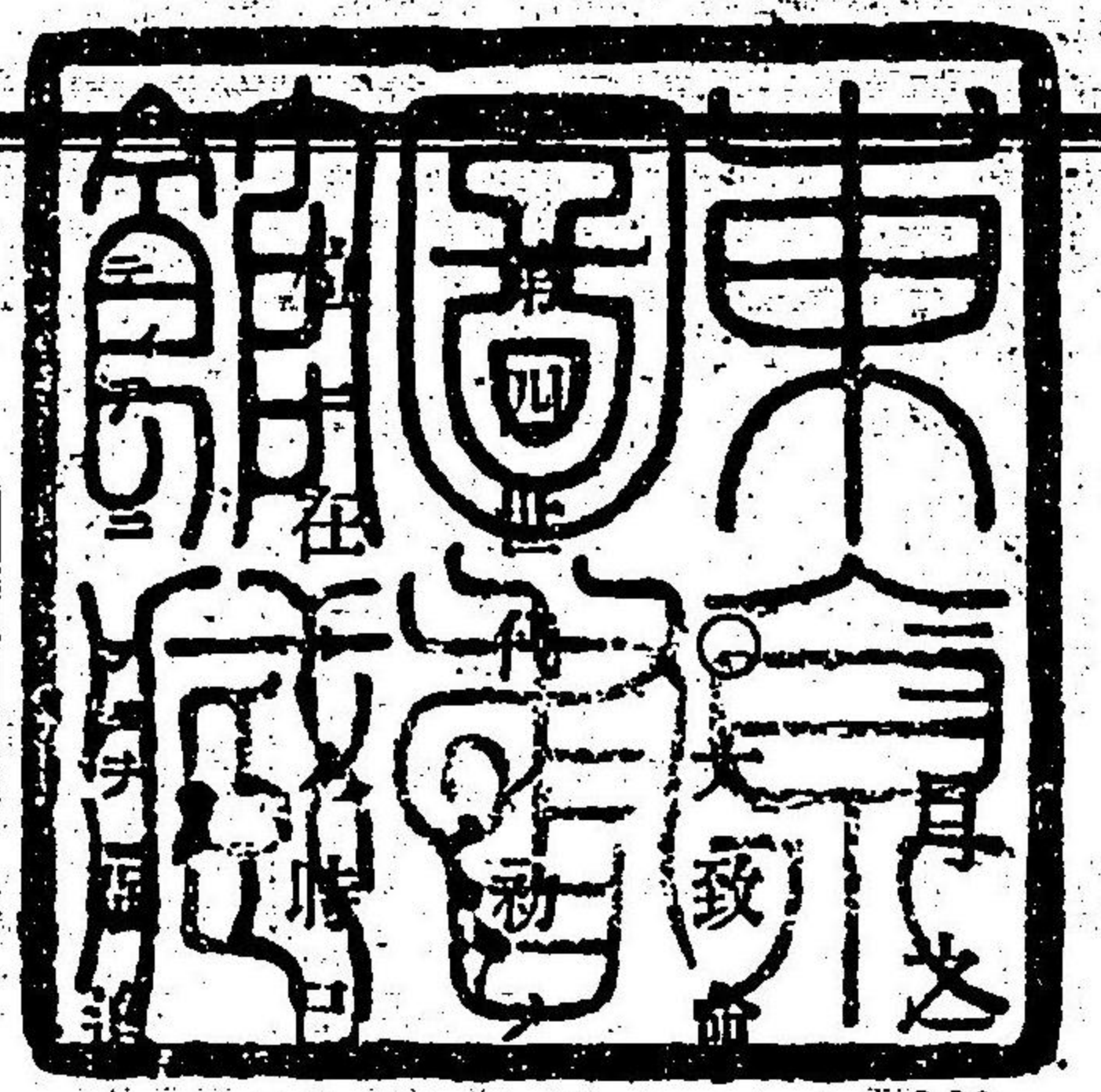
二百六十五

三月之部目錄終

諸聖略傳第三卷

莫斯科巴弗米帖瓦編輯

仙臺 今田昂德烈 譯



部

聖フェオドルティロンノ苦難一日

マシシミアン及ヒマクシミンノ兩帝共ニ

ガ奉シタル異教ニ熱信ナルガ爲メハリ大

シテ偶像邪神ニ祭ヲ献セシメントセリ此

ノ時ポント郡アマシヤ城ニフェオドルティロント呼ヘル雄壯

ナル兵士アリ隊長某ハ彼ヲシテ祭ヲ偶像ノ壇上ニ献セシ

二
メント欲セシガフエオドルハ己レハ「ハリステイアニン」ニ在
天ノ主神ヲ承認セシ故、祭ヲ偶像ニ献ズル能ハズト陳ヘケ
レバ隊長及ビ市尹ハ彼ヲ説キ諭シテ王命ニ従ハシメント
セシモフエオドルハイイススハリステイアニカ至上ノ神タルコ
ト承認シテ止マサレハ二人強テ之ヲ問ハズ其ノ自ラ悔悟
シテ二人ニ従フノ時アランコヲ待チタルモ彼レ危難ヲ怖
ル、コナク卓然トシテ主神ヲ讚揚セリ
斯クテ倍々嚴命ヲ下シテ「ハリステイアニン」ヲ捕縛シ之ヲ強
迫シテ偶像ニ祭ヲ献ゼシメ聽カサル者ハ之ヲ獄舎ニ繋キ
シカバフエオドルハ囚者ヲ慰メテ之ヲ忍耐、堅固ナラシメタ

三
リ
斯クテ活潑有爲ニシテ常ニ正教ヲ守テ屈セザルフエオドル
ハ一夜著名ナル邪神ノ殿ヲ燒キ異教人ノ見認ムル所トナ
リ遂ニ市尹ノ許ニ訴ヘラレタリ市尹ハフエオドルヲ己レノ
前ニ引キ出シ之ヲ詰問スルニフエオドル懼ル、色ナク己レ
ノ過ヲ認メ罪ニ服シケレバ市尹ハ彼ヲ鞭ウチ且ツ恐嚇シ
テ王命ニ従ハスンバ更ニ大ナル苦ニ渡サントセリ然レド
フエオドルハ將來ノ幸福ヲ望ムノ心、己レヲ堅メケレバ泰然
トノ答テ曰ク爾ノ苦難ハ堪ユ得ヘキ者ナレバ是レ我が苦
ミニアラズ故ニ吾レ恐レズ蓋ハ我が主神イイススハリステ

トス我が前ニ立テ我ヲ助ケ玉ヘハナリ然レド爾ノ靈目明
 カナラザル故ニ之ヲ見ル能ハズト市尹命シテフエオドルヲ
 獄舎ニ繫キ戸ヲ閉チ飲食ヲ與ヘズノ餓死セシメントセリ
 此ノ夜フエオドル祈禱スル時主イエイススハリストス彼ニ顯
 レテ曰クフエオドルヤ奮ヘヨ我レ爾ト偕ニス爾地ノ飲食ヲ
 受クルコナカレ爾將ニ我ト偕ニ天ニ在リテ朽チズノ尽キ
 ザル生命ヲ受ケントストフエオドルハ斯ク奇異ナル示現ヲ
 見テ心益々固ク且ツ謂フヘカラザル欣喜ヲ以テ盈サレケ
 レハ聲高クカニ唱歌シテ主ヲ讚揚セリ監吏獄舎ノ中ニ聲
 アルヲ聞キ窓ヨリ之ヲ窺クニ奇異ナルカナ其ノ封閉ハ全

ウシテフエオドルノ傍ニ白衣ヲ着タル衆少年アリテ偕ニ歌
 フヲ見テ大ニ驚懼シ走リテ之ヲ市尹ニ訴ヘシカハ市尹急
 ニ獄舎ニ到リ衆人ノ歌ヲ聞キ思ラク是レ必ズハリステイ
 アニンノフエオドルヲ訪フナリト然レモ封閉ハ故ノ如ク獄中
 ニ入ルニフエオドル唯一人ノミナレハ從者皆大ニ驚キタリ
 次朝ニ至リ市尹再ビフエオドルヲ法庭ニ召ビ偶像ニ祭ヲ獻
 シ重賞尊榮ヲ受クヘシト諭シケルニフエオドル目ヲ擧ケ天
 チ仰キ身ニ十字架ヲ畫シ容ヲ正シテ曰ク喩ヒ我ヲ烈火ニ
 投ズルモ猛獸ニ食ハシムルモ慘酷ナル刑ニ處シテ我が体
 チ寸斷スルモ我レ生命ノアラン限りハ我がハリストスノ

名ニ反ムク能ハズト市尹怒リ鐵鈞ヲ以テフェオドルノ体ヲ
 搔キ裂カシメタルモ致命者ハコノ慘酷ナル苦ノ中ニアリ
 テ能ク耐忍シ神ヲ籲テ曰ク我レ將ニ時々主ニ祝謝セント
 ス、彼ノ頌美必ズ恒ニ我ガ口ニアリ(詩篇卅三章)ト市尹曰ク辱
 ナ十字架上ニ受ケテ死セシ者ヲ籲フハ是レ爾ノ耻ナラズ
 ヤ致命者曰ク我レ及ビ總テイエススハリストスノ名ヲ承
 認スル者ハ是ノ辱ヲ受ケン事ヲ願フ也市尹フェオドルヲ苦
 ムルヲ稍久シク或ハ恐嚇シ或ハ諭シテ諸神ニ獻祭セシメ
 ントセシモフェオドル肯セズト曰ク爾ハ爾ニ權柄威力ヲ賜
 フノ主王者ノ王タル神ヲ畏レザルカ何ソソ我ヲ活神ヨリ

反カシメ心情ナキ金石ヲ拜セシメントスルヤト市尹默然、
 頃クアリテ曰ク爾我等ト偕ニセンカ若シクハハリストス
 ト偕ニセンコトヲ願フカ二ノ者何レヲ欲スルヤトフェオドル
 欣ビ答テ曰ク我ハ吾ガ主ハリストスト永遠ヲ偕ニセンコ
 トヲ願フ也爾ハ爾ノ欲スル所ニ任セテ我ニ行フ可シト市尹
 遂ニ宣告シテ曰ク光榮ナル王及ビ大ナル諸神ニ背キボン
 テイピラトノ時十字架ニ釘セラレシイエススハリストス
 ナ信スルノフェオドル其ノ罪ニヨリテ烈火ニ投ズト獄卒命
 ナ受ケ薪ヲ積ミ火ヲ盛ニシテフェオドルヲ刑場ニ引キシカ
 バフェオドルハ十字架ヲ畫シ祈禱讚揚シツ、自ラ奮フテ身

ヲ烈火ノ中ニ投シ從容トシテ魂ヲ主ニ復歸セリ是ヲマフタリミル目撃セシ人書シテ曰ク我等モ亦彼レノ聖ナル魂、電ノ如ク天ニ昇ルヲ見タリト一ノ虔敬ナル「ハリステイアコン」ニシテエフセウヤト云ヘル女、聖致命者ノ遺骨ヲ収メ己レノ郷里ナルエフハイト城ニ葬ムリ毎歲謹テ其ノ紀念ヲ行ヒタリ

再説、聖フエオドルガ世ヲ逝ルノ後大約五十年ヲ過キ背教者ユリアンカグレチヤニ帝タル時「ハリニタイアコン」ヲ惡ミ其ノ不利妨害ヲ謀リ四旬齋期ノ第一週間ハ信徒等カ齋ヲ守ルコト最ト嚴重ナルヲ知リ之ヲ誹リ笑ハシガ爲メ王城ノ知事ニ命シテ凡ソ販賣スル食料ニ悉ク犠牲ノ血ヲ注ガシ

メタリ知事命ノ如ク之ヲ行ヒシガ一日聖フエオドル王城ノ大主教ニ顯レテ曰ク凡「ハリステイアコン」タル者ニ市ニ往キ食料ヲ買フヲ禁ズベシ蓋ハ市ニ販賣スル所ノ食料ニ悉ク犠牲ノ血ヲ注ギタリ若シ誰カ食料ヲ備ヘザル者アラバ之ニ麥ト蜂蜜トヲ和シ炊キテ「コリウオ」ヲ作り之ヲ食フヲ命セヨト大主教驚キ答テ曰ク然シ「ハリステイアコン」ノ爲メニ慮ル者ハ誰ナルヤト曰ク我ハハリステイアコンノ致命者フエオドルテイロンニシテ神ノ命ヲ奉シ「ハリステイアコン」ヲ保護スルナリト言ヒ終リテ忽チ見ヘザリケリ大主教ハ其ノ命ノ如クシ

一週間中「ハリステイアコン」等滅ナ「コリウオ」ヲ食シケレバユリ

アン遂ニ其ノ^{ワルダクミ}姦謀ノ成ラザルヲ見、禁ヲ解キ通常ノ食料ヲ
販賣セシメタリ

正教會ニテ聖大致命者フエオドルニ感謝シ之ヲ紀念スルガ
タメ今ニ至ル迄大齋ノ第一週間ニ於テ「コリウ」ヲ食セリ

○ロマノ「パーパ」聖レオ及び王城ノ総主教聖フラワイ
アンノ紀念ニ日

イタリヤノ人聖レオハ夙ニ身ヲ主ニ獻シシクスト三世
ノ後任ヲ嗣キテ「パーパ」ノ重職ニ擧ラレ能ク^{シシヤ}牧衆ヲ治理シ
身自ラ善行ノ規範ヲ與ヘ内外ノ仇敵ヲ拒キ實ニ善良ノ牧
師タリ

當時(四百五十二年ノ頃)匈奴王ニシテ神ノ鞭ト稱セラル、

アテイルラガイタリヤ國ニ侵入シケレバ住民ハ老ヲ扶ケ幼
ヲ懷キ山野ニ遯走シテ寢食ヲ安ゼザリキアテイルラ遂ニ
兵ヲ率ヰテロマニ入りシカバレオハ熱切ニ神ニ祈禱シ聖
使徒ペートル及ヒパウエルニ保護ヲ祈リロマノ議員ヲ率ヰ
出テ暴戻ナル王ヲ迎ヘテ歎願セリアテイルラハレオノ請ヲ
許シ直ニ兵ヲ引キ還リテロマ全部ヲ侵サトリケレバアテ
イルラノ將士是ノ如キ未曾有ノ仁慈ナル處治ヲ見大ニ驚キ
王ニ問テ曰ク何スレゾ「パーパ」ノ言ヲ聽キ易々ロマヲ陷イ
ルノ大利ヲ捨テシヤ」トアテイルラ答テ曰ク爾等豈ニ我が視

ル所ノ者ヲ視ザルカ「パーバ」我ト語ル時二人アリ煌々灼々
タル顔ニテ我ノ傍ニ立テ白刃ヲ拔キ若シ神ノ司祭長ノ言
ヲ聽カズンハ吾ヲ殺サント語レリ」

レオ「パーバ」タリシ時又他ノ困難、教會ニ起リタリ蓋ハ岐教
者カ恒ニ「ハリスティアニシテ妨害シ聖全地公會及ビ地方公
會ニ於テ闢除セラル、モ猶ホ數人ノ變心者ト合同シ夥多
ノ信從者ヲ得テ其ノ勢盛ナルナリ岐教者等ガ爭論ノ旨ト
スル所ハイイススハリストスノ性ノ「ノ定理ニシテ我等
ハ聖福音書ニヨリ主イエイススハリストスハ神ニシ人ヲ
ルヲ明知スレト一ノ岐教師エフテイヒイハイイススハリス

トスハ唯、神性ノミナリト論定セリ此ノ時、王城ノ総主教ハ
聖フライアンナリシガ堅ク正教ヲ護リ敬虔、徳義ノ人ナル
モ小フェオドシイ帝ノ侍臣之ヲ嫌忌シ且ツ其ノ寵臣侍衛長
ハリサンファイハ尤モ大ナル敵ニシテ恒ニ不利妨害ヲ謀リ屢
々讒言誹謗ヲ爲シタリ
フライアンハ岐教ノ益々弘マルヲ見降生四百四十八年地方
公會ヲ開キ促シテエフテイヒイヲモ參與セシメタリエフテイ
ヒイ始メ総主教ノ命ニ從フヲ欲セズシテ公會ニ參與ス
ルヲ固辭スルモ避クルニ術ナク己レヲ保護センカタメ帝
ニ請ヒ兵ヲ率テ會場ニ臨ミ己レノ教旨ヲ説キ了リ參與ス

ル諸主教ノ仁愛温和ナル諭言ヲ聽クタモ肯セサレハ諸主
 教ハ其ノ傲慢無禮ナルヲ見テ神品ノ職位ヲ剝奪シタリエ
 フテイヒイ哀ヲ羅馬ノ「パーパ」レオニ請ヒタレヒ「パーパ」モ亦
 之ヲ納レズフラワイアンニ公書ヲ遣ハシテ神ノ子人ト成ル
 ノ教理ヲ述ヘタリ然ルニ姦智ニ長キエフテイヒイハフラワイ
 アンノ仇敵ト心ヲ合セ帝及ビ后ヲ惑ハシ其ノ助ヲ得、次年
 アレキサンドリヤノ總主教ディオスコルヲ以テ議長ト爲シ
 エフテイヒイノ同意者ヲ集メエフコスニ公會ヲ開キタリ此ノ
 公會ハ歴史上エフコスノ暴舉ト名ツケラル斯クテフラワイア
 シハ新ナル教理ヲ教會ニ起シタル者ナリト讒セラレ又諸

主教等ノ中強迫セラレエフテイヒイノ教ニ同意ヲ表スル者
 モアリテフラワイアンヲ召ビ之ヲ岐教師ノ罪ニ陷イレ神職
 ナ奪ヒタエギベトニ遠流セントセリ然レド數人ノ主教等
 ハフラワイアンヲ保護シ駁撃辨論紛々ナリシガ總主教ディオ
 スコルハ兵士ヲシテ強迫セシメ酷ク聖フラワイアンヲ鞭ナ
 ケレバ是レガ爲メ數日ノ後遂ニ逝去セリ
 聖レオ是ヲ聞キ不合法公會判決ノ不理ナルヲ公告シ降生
 四百五十一年マルキアン帝及ビ皇后アルヘリヤノ時ハル
 キドン城ニ第四聖全地公會ヲ開キタリ主教等會スル者六
 百三十人ニシテエフテイヒイノ岐教ヲ闢除シイイススハリス

トスハ二性アリテ混同變易分離スベカラザルノ定理ヲ決定シ且ツ聖レオガフラワイアンニ遣ハセシ神ノ子人トナルノ教ヲ闡明スルノ書ヲ誦讀シケレハハルキドン公會ノ師父咸ナ之ヲ使徒ノ教タリト認メディオスコルハ聖フラワイアンチ殺スノ罪ニヨリテ退ッゲラレ總主教フラワイアンノ遺骨ヲコンスタンティノールニ遷シタリ而シ「パーバ」聖レオト偕ニ三月二日其ノ紀念祭ヲ行ヘリ

「パーバ」聖レオハ歴史上ニ大レオト稱セラル曾テウヅルツ王ケンゼリフガロマニ侵入セシ時國家ヲ慘酷ナルアタイルラヨリ救ヒタルガ如ク能クケンゼリフチシテ慈心ヲ起サ

シノロマ人民チ塗炭ノ中ヨリ救ヒ年老テ後チ晏然トシ世ヲ逝リタリ

○聖使徒アルヒップ及ビフィリモン及ビ聖アアフィヤノ紀念三日

聖使徒アルヒップハ聖エパフラスノ後チ嗣キフリギヤ郡コロッス城ノ主教タリ聖使徒パワエル曾テ主家チ脱セシ僕ヲニシムノ事ニヨリテ書ヲ遣シタル聖フィリモンモ亦此ノ城内ニ居リシガ其ノ正教ニ歸スルノ後、敬虔ニ世ヲ度リ己レノ家ニ信者ヲ集メテ公祈禱ヲ行ヘリ後聖使徒パワエル彼ヲ手撫シテ主教トナシ聖言ヲ公布スルヲ依任シケレバフィリモ

ソ銳意ニ其ノ職ヲ勤メ其ノ妻聖アアファイヤモ亦能ク神ニ事
 主ハリストスノ爲メニ福音ヲ傳フル人々ヲ助ケ或ハ己
 レノ家ニ招イテ之ニ衣食シ且ソ病者ヲ訪ヒ慰サメ総テ聖
 フィリモンノ忠信ナル同勞者タルヲ顯ハセリ後聖使徒アル
 ヒップ及ビフィリモント偕ニ異教ノ祭禮ノ時致命セリ即チ彼
 等カ衆「ハリステイア」ト集リ祈禱スル時異教人等ハ「ハリ
 ステイア」ニ等ガ祈禱ノ爲メ皆フィリモンノ家ニ集マルヲ知
 リ忽チ其ノ家ニ乱入シ祈禱スル人々ヲ解散セシメ聖フィリ
 モン及ビアルヒップト聖アアファイヤヲ捕ヘエフェスノ市尹ニ訴
 へ市尹之ヲ糺問シテ遂ニ死ニ處シタルナリ

○此ノ日又著明ナル貴公子成徳ナルドシフェイヲ紀念セリ
 彼レ敬虔ナル修士阿爸ドロフェイノ弟子トナリ我意ヲ棄テ
 完キ從順ヲ以テ特ニ著明ナル人ナリ

○カタナノ主教聖レオノ紀念四日

聖レオハ第十世代ノ比シナリヤ島カタナノ主教タリ愛憐
 ナシテ鰥寡、孤獨、貧者、病者、旅客ヲ顧リミ銳意ニ牧衆ヲ教
 導シ主神ヨリ奇蹟ヲ行フノ異能ヲ受ケタル人ナリ
 ○此日又ベルシヤノ主教神品致命者聖サドクヲ紀念セリ
 彼レハ聖シメオンガ致命セシ後、嗣テ主教トナリタリ曾テ
 夢ニ梯アリ地ニ立チ其ノ上端、天ニ届リ聖シメオンガ大ナ

ル光榮ヲ顯ハシテ之ニ立チ其ノ後任者ヲ己レノ前ニ召スヲ見タリ覺テ後大ニ欣ビ致命ノ準備ヲ爲シ堂役者ヲ召ビ終焉ノ近キヲ告ケ且ツ彼等ヲ同ク致命ノ準備ヲ爲サシメントシ之ヲ勵シテ曰ク人、靈ヲ以テ活クル者ハハリストスノ爲メニ死スルヲ懼レサルベシ蓋ハハリストスノ所ニ到レハナリ若シ肉体ノミヲ以テ活クル者ハ死ノ時ヲ恐懼セリ蓋ハ此ノ世ヲ愛セハナリト實ニ預告セル、ガ如ク主教シメオンノ死セシ後一年ヲ經テ聖サドクハ堂役者及ビ夥多ノ「ハリストイアコン」ト僭ニハリストス教ノ爲ニ命ヲ致スノ時至リ先ツ獄舎ニ繋ガレ多クノ困難ヲ受ケ忍ビ遂ニ咸

ナ欣ビテ死ニ即キタリ是レ實ニ第四世代ニシテサボルベ
ルシヤニ王タリシ時ナリトツ

○アンテオヒヤノ主教聖エウスタフイノ紀念五日

第四世代ノ初メ第十回ノ審逐アリシ時ハリストス教ノ表信者ナル聖エウスタフイハ衆人ニ撰バレアンテオヒヤノ主教トナレリ彼其ノ職ニ在リテニケヤノ聖全地公會ニ與カリ固ク眞理ヲ守リ銳意ニアリイ教ノ偽説ヲ論破シタリ降生三百二十六年漸々ハリストス教ノ教化ヲ受ケタルグルシヤニ至リ新信者ノ爲メニ牧師ヲ立テ歸リテ後能ク教會ヲ治メ且ツ徳高ク達才博識ナルヲ以テ衆信者ニ敬愛

セラレタリコンスタンティン大帝崩セシ後其ノ子コンスタンチン東部ノ皇帝トナリアリイ教ニ誘惑セラレ正教ノ信者ヲ強迫シテアリイ教ヲ保護セシ故アリイ教ノ主教等先ニニクヤ城公會ニ於テ公會ノ定説ニ同意ヲ表シ押印スル者多カリシモ今ヤ自ラ正教ニ背キタルノミナラス他ノ主教ヲモ迫促シテアリイ教ニ從ハシメントシ聽カザル者ハ或ハ職ヲ奪ヒ或ハ流竄シ或ハ迫害窘逐シ遂ニコンスタンティノールノ主教パワエルヲ除黜シテ王城ヲ逐ヒ且ツ謀ヲ設ケテアレキサンドリヤノ聖アフナシイヲ殺害セントセリ斯クテ又アリイ教ノ主教等數人イエルサリムノ聖堂

成聖式ニ臨ムノ途次竊ニエウスタフイヲ除黜セントシテアンテオヒヤニ至リシガエウスタフイハ其ノ意ヲ悟ラズ大ニ欣テ彼等ヲ迎ヘシガ彼ノ主教等ハ俄カニ會ヲ開キエウスタフイノ行爲ト其ノ主義トスル所ト其ノ心トヲ妄査シ偽証シテ敬虔ナル主教ヲ以テ品行修マラス且ツ偽教ニ陥リシ者ト爲シテ帝ニ奏シ且ツアンテオヒヤノ民ヲ煽動シ遂ニエウスタフイノ職ヲ奪ヒフラギヤニ流シケレバ數人ノ司祭及ビ補祭等其ノ別レヲ惜ミ借ニ配所ニ至レリ斯クテ主教ハ夥多ノ艱難ヲ忍ビ凶敵ノ窘迫ヲ受ケ重テ他所ニ移サレタレド從容トシテ諸難ヲ受ケ主ノ聖旨ニヨリテ

試ミ玉フ者ナリトテ少シモ怨メル色ナク遂ニ降生三百四十五年
フィリップ城ニ在リテ安然トシテ此ノ世ヲ逝リタリ主
教ノ遺書ニシテ世ニ著ルシキ者數編アリト云

○六日

此ノ日エウゲニイ邑ニ在リテ難ヲ受ケタル諸致命者ノ聖
軀ヲ發見セシメテ紀念セリ抑々昔シ窘逐ノ時、諸信者ハ死
ヲ犯シテ致命者ノ遺骨ヲ収メ隠カニ之ヲ葬リ人ノ之ヲ知
ルヲ絶テナカリシガ年經テ後、往々病ヲ痊スノ奇蹟ヲ以テ
主ノ聖ナル奉事者ノ遺骨ヲ發見セシメテ數回ナリシガ斯ク
エウゲニイ邑ニシテモ多クノ致命者ノ遺骨ヲ發見シタリ今、

教會ニ於テ其ノ名詳カナラサレモ其ノ中ニ七十使徒ノ一
人聖アンドロニク及ビニコヤト其ノ夫ノ遺骨アリト云

○聖致命者マウリキイ及ビ軍士七十人ノ苦難六日

第四世代ノ頃羅馬ニ帝タリシマクシミアンハ「ハリスティアニ
ン」ヲ最ト慘酷ニ窘逐シタル一人ナリ彼レ「ハリスティアニン」
ニ不利妨害ナル嚴令ヲ發シ自ラ國中ニ巡幸シテ其ノ命令
ノ實行セシヤ否ヤヲ視察セシガ一日シリヤ州アパメヤ城
ニ駐在セシ時、訴フル者アリ曰ク兵長ノ一人マウリキイト
呼ヘル者ハリストスヲ信シ其ノ隊中ニモ亦信スル者七十
人アリト帝之ヲ聞テ大ニ震怒シ日ヲ期シテ公審ヲ開キマ

ウリキイ及ビ其ノ兵士ヲ法庭ニ招致シ帝自ラ出テマウ
 リキイニ向テ曰クマウリキイヨ爾ハ朝恩ニ浴シ富貴榮
 達ヲ受ケシユヘ我レ爾ノ忠信ニシ能ク我ニ仕ヘ凡ソ法ヲ
 犯シ國ニ背カントスル者ヲ正サントナ望ミシニ豈圖ラン
 ヤ今聞クトコロ之ニ反セリ爾他人ヲ啓導説諭ス可キノ任
 ニアリナカラ自ラ岐路ニ陷イリ諸神ヲ蔑視シテ獻祭奉事
 ナ爲サスト此ノ事信ナルヤ否ナマウリキイ答テ曰ク誠ニ
 然リ我等實ニ爾ノ奉事スル諸神ヲ拜セズシテ天地萬物ヲ
 創造シ玉ヒシ眞神ヲ頌美シ世ノ偶像ハ以テ神ト稱ス可ラ
 スト帝曰ク爾諸神ノ仁慈ニヨリテ斯ク尊榮ヲ受ケ我が軍

隊ノ長官トナリシヲ諸神ニ感謝セザルカマウリキイ曰ク
 我レ何等ノ幸福モ曾テ爾等ノ偶像ヨリ受ケシコトナシ且ツ
 我レ之ニ尊敬ヲ表スルヲ欲セズ蓋ハ永遠ノ神ヲ忘レ人ノ
 造工シタル者ヲ拜スルハ無智ノ至リナレハナリ是ニ於テ
 帝ハマウリキイヲ退出セシメ諸兵士ニ向ヒ諭シテ曰ク誰
 カ爾等ヲ眩惑シテ諸神ヲ拜セサラシメ而シテ己レノ惡業ノ爲
 メニ十字架ニ釘セラレシ者ヲ神トシ稱スルヲ訓ヘシヤ爾等
 此ノ惑ヲ捨テヨトフエドル及ビフィリップト稱スル二人ノ兵
 士坐テ起テ進ミ出テ同輩ノ人々ニ代リ答テ曰ク帝ヨ我等
 ハ爾モ亦我等ノ免カレシ惑ヨリ免カレシコトヲ希望スル也蓋

シ眞ノ神全能ナル神、父、神ノ睿智ナル獨一子及ビ我等ニ才
 能智識ヲ賜ヒシ聖神ヲ伏シ拜ミ一性ニシテ分離セザル聖
 三者ヲ承認シ爾ノ偽信ヲ棄ルヲ願フ也「ト帝又兵士等ヲハ
 リストスヨリ反離セシメント欲シ或ハ言ヲ温ケテ之ヲ諭
 シ或ハ恐ルヘキ死ヲ以テ之ヲ嚇セシモ皆徒勞ニ歸シタリ
 兵士等皆曰ク我等苦難ヲ懼レズ蓋シ凡ソ主ヲ愛スル者ハ
 魂ニ於テ恐ル、所ナケレバナリ」ト此ニ於テ帝、兵士ヲシテ
 軍服ヲ脱セシメタリ蓋ハ軍職ヲ免セラル、ハ當時、最モ耻辱
 トスル所ナレハナリ然ルニ兵士等又曰ク爾我等ノ軍役ヲ
 免シ我等ノ軍服ヲ奪フヲ得ルト雖モ我等カ奉事スル所

ノ神ハ朽ナザル衣ヲ以テ我等ノ身ニ纏ヒ天上ノ尊榮ヲ以
 テ我等ニ被ラシメントス爾ハ之ヲ見、之ヲ理解スルタモ猶
 ホ當ラザル者ナリ「ト遂ニ帝命ニ由リテ皆獄舎ニ繋カレタ
 リ兵士等獄舎ニ在リテ致命ノ聖ナル偉蹟ヲ爲サンガ爲メ
 ニ常ニ祈禱シテ致命ノ準備ヲ爲シ且ツ主ニ嘉セラル人々
 ノ中ニ加ヘラレノヲ祈リ主神モ彼等ニ賜フニ忍耐ノ力
 ト明智トヲ以テセリ
 三日ノ後マクシミアン復タ彼等ヲ召シ公審ヲ開キ正教ヲ
 棄テ己レノ命ヲ救ハンヲ論シタリ然レト兵士等咸テ曰ク
 我等皆ハリストスヲ捨ツル能ハズ其ノ聖名ノ爲ニ死ヲ決

セリト

兵士ノ中ニ一ノ少年アリ帝之ニ目ヲ注キ問テ曰ク爾ハ誰
タルヤ少年曰ク我ハ羅馬人ニシテフオティント呼ビ我ニハリス
トスヲ信認セシメ其ノ聖ナル教ヲ以テ我ヲ教育セルマウ
リキイノ子ナリト帝又曰ク爾尙ホ弱冠ニシテ知識未タ備ハ
ラス故ニ自ラ利害ノ何物タルヲ辨セズ爾我ガ命ニ從ヒ諸
神ヲ拜シ生命ヲ救フヘシ少年曰ク爾ハ我ガ爾ノ偶像ヲ拜
セザルヲ以テ無智ナリト云ヘルモ我ハ爾ノ智ニ較フレバ
最モ優レリ蓋ハ爾ノ知ラサル我主イイススハリストスヲ
信スレバナリト

帝因テ諸ノ信者ヲ嚇スニ恐ルヘキ死ヲ以テスルモ兵士等
儼然トシテ答テ曰ク帝ヨフオティンノ言ニヨリテ我等ノ信仰ト
我等ノ力トヲ知ル可シ今フオティンハ年少ナレト猶ホ且ツ其
ノ信仰ヲ變ヘズハリストスヲ識認スルヲ以テ爾ヲ辱シム
況ンヤ我等豈堅ク諸難ヲ忍ビサランヤ我等ハ必ズ惡鬼ヲ
辱メテ我等ノ主ハリストスニ嘉セラレントスト
帝之ヲ聞キテ大ニ怒リ酷ク牛筋ヲ以テ鞭撻セシメケレハ
流血淋漓川ヲ爲スモ兵士等ハ苦難ノ中ニ在リテ主ヲ籲ヒ其
ノ扶佑ヲ祈リ主ハ彼等ヲ矜憐シ其ノ苦難ノ中ニ彼等ヲ鞏固
セリ帝ハ猶モ彼等ヲ説諭シテ其ノ信仰ヲ反離セシメントセ

シカ兵士等帝ニ謂テ曰ク慘酷ナル帝ヨ爾迷雲ニ暗マサレハ
 リストスノ愛ト光リトヲ悟ラス且ツ爾ハ我等ガ我等ノ神
 イイススハリストスノ光リト教トヲ以テ照サレ爾ノ我等
 ナ苦ル苦難ヲ以テ苦難トナサ、ルコトヲ知ラズ爾更ニ甚シ
 キ苦難ヲ以テ我等ヲ苦シメヨ我等ハ苦難ノ中ニ世ヲ逝リ
 世々ニ王タル活神ヲ目撃シンコトヲ願フナリトマクシミア
 ン帝之ヲ聞キ憤怒ニヤ堪エサリケン命シテ火ヲ盛ンコソ
 致命者等ヲ火中ニ投セシメ之ヲ燒殺セントセリ然レト主
 神ハ兵士等ノ爲メニ奇蹟ヲ行ヒシカバ兵士等ハ烈火ノ中
 ニ在リテ害ナカリキ次テ帝ハ鉄鈎ヲ以テ兵士等ノ身ヲ捉

キ割カシメタリシガ兵士等ハカ、ル苦難ヲモ泰然トシテ
 受ケ忍ヒタリマウリキイ、帝ニ謂テ曰ク爾未タ己レノ弱キ
 ナ悟ラサルカカ、ル少年モ猶泰然トシ苦難ヲ耐ヘ忍フニ非
 スヤ而モ爾ハ猶ホ我等ニ勝タント欲スルカトマクシミア
 ン帝其ノ言ニ報サントシテマウリキイノ目前ニ其ノ子フ
 テインヲ刑セシカマウリキイハ其ノ子ガハリストスノ爲メ
 ニ能ク致命セシヲ喜ビ己レモ亦其ノ朋友ト偕ニ更ニ大ナ
 ル苦ミヲ受ケンコトヲ願ヒタリ
 慘酷ナル帝ハ致命者等ヲ城外ノ毒蛇ノ多キ谷ニ引キ出シ
 テ木ニ縛シ蜜ヲ其ノ体ニ塗り炎天ニ暴シテ蚊蜂ニ刺サシ

メタリ斯クノ如クニシテ苦ミヲ受ルコト數日ナルモ泰然ト
 ノ其ノ信仰少モ撓マズ已ニ終焉ノ近キヲ知リ最後ノ祈禱
 ナ主ニ獻シテ曰ク我が主我ガ神ヨ我等ヲ爾ノ像ニ象リテ
 造リ我等ヲ照光ノ爾ノ眞理ヲ悟ラシメ爾ノ神聖ト爾ノ獨
 一子及ビ爾ノ聖神ヲ識認セシムル者ヨ願クハ我等ノ魂ヲ
 爾ノ手ニ受ケ世々爾ノ愛セシ聖者ト偕ニ在ラシメヨ我等
 全心誠意、爾ヲ愛シ爾ノ爲メニ死ニ即カン蓋シ爾ハ獨リ萬
 善ニシ仁慈ノ神ナリ光榮讚美ハ世々ニ爾ニ歸ス「アミン」ト言
 終リテ聖致命者等ハ魂ヲ主ニ獻セリ帝之ヲ見テ刎首セシ
 メ而シ其ノ之ヲ葬ムルコトヲ禁ゼリ然レト「ハリスタイアノン」

ガ、夜隱カニ謎テ聖屍ヲ葬リタリト云

○スミルナノ主教神品致命者聖ボルカルフノ傳七日
 聖使徒ガ教ヲ傳ヘシ時スミルナ城ニ富貴ニシテ敬虔ナル寡
 婦アリ名ヲカルリスタクト云ヘリ主ヲ愛スルコト深クシテ能
 シ誠ヲ守リ常ニ貧者ニ濟施セリ彼レ子ナカリシカバボリ
 カルフト稱スル孤子ヲ養育シテ之ヲ教ヘ之ヲ愛スルコト實
 子ノ如ク長ズルニ及テ全家ヲ舉ケテ彼ニ委任セリボリカ
 ルフモ善ク敬愛ヲ尽シテ己レノ恩人ニ事ヘ且ツ年少ノ時
 ヨリ善良ニシ敬虔ナリカルリスタク死セシ後其ノ全産ヲ
 受ケシモ此ノ世ノ富ヲ愛セズ悉ク貧者ニ頒ケ與ヘ自ラ節

儉ヲ守リ不斷祈禱シテ貧者、病者、老年ノ人々ノ爲メニ務メ
 タリ
 スミルナノ主教聖ワッコルハ少年ポリカルプカ熱心敬虔ニ
 シテ能ク神ノ誠ヲ守ルヲ見テ之ヲ愛シ先ツ堂役者ト爲シ
 次ヲ輔祭ノ職ニ擧ケ神ノ聖言ヲ傳ヘシメタリ此ノ時聖使
 徒神學者イオアン及ヒパワエルハ小亞細亞ニ傳道セシカハ
 ポリカルプ彼等ニ就キテ其ノ教訓ヲ受ケ遂ニ其ノ弟子ト
 爲リ與ニ小亞細亞ヲ周遊シテ二人ヲ助ケ正教ノ播布ニ力
 ナ尽セシガ後聖使徒等ノ勸メニヨリ聖ワッコルハポリカル
 プヲ手撫シテ司祭ノ神職ニ登ラシメタリ彼レ是ノ職ニ在

リテ益々熱心ニ神ニ事ヘ人々ヲ教化シ救主ノ身生ト救主
 ノ行ヒシ奇蹟休徵ヲ説キ其ノ誠ヲ講シ異教人ヲ導テ真理
 ニ歸セシメントセシガ其ノ説ヲ聽キ拜偶ヲ棄テ、主神ヲ
 信スル者多カリキ聖ワッコルガ將ニ死セントスル時ポリカ
 ルプヲ後任ト爲ス可キノ神示ヲ得タリ故ニワッコルハ牧衆
 ナ彼ニ委任セシトソ
 聖ポリカルプガ主教ノ職ニ擧ケラル、時休徵アリテ衆人
 ノ前ニ其ノ神恩ヲ滿被スルヲ證セリ蓋ハ煌々灼々タル
 光リアリテ殿中ヲ輝カシ又信者ノ中或ハ白鴿アリテポリ
 カルプノ頭上ニ翱翔スルヲ見或ハポリカルプノ甲冑ヲ粧

ヒ劔ヲ接シ將ニ戰場ニ臨マントスル雄士ノ如クナルヲ見
 或ハ彼レ身ニ衰衣ヲ纏ヒ煌々タル天光ヲ以テ輝サレタル
 ナ見タリト
 カ、ル休徴ハ實ニ聖ボリカルプガ小亞細亞ノ主教中ニテ
 最モ尊敬セラレ、者トナル將來ノ運命ヲ預告セラレシナ
 リ異教人モ亦其ノ仁善ニノ剛毅且ツ謙遜ナルヲ敬ヒ尊
 トハザル者ナク彼レ亦多人ヲハリストスニ反正セシメタ
 リ又弟子ノ中ニシテ師徳ニ法トリ聖ナル度生ヲ以テ著ル
 シキハ乃チ聖イリネイ、ハービイ、ピオニイ等ナリ聖ボリカル
 プ恒ニ神ノ道ヲ傳ヘ新ニ主ニ歸スル者ニ書ヲ與ヘテ之ヲ

奨勸シ而シテ牧衆ノ魂ノ幸福利益トナルヲ苦慮セシトツ
 捧神者聖イグナティイハスミルナノ主教ボリカルプノ聖行
 ナ其ノ書翰ニ記載セリ聖イグナティイ刑ニ處セラレガ爲メロ
 マニ護送セラレ、時スミルナチ過キボリカルプノ家ニ留
 マルヲ數日ニシテ諸教會ニ書ヲ遣ハセリ、主神ハ聖ボルカル
 プニ奇蹟ヲ行フノ力ヲ賜ヒ其ノ名チ人前ニ顯ハシ又病ヲ痊
 スノ力ヲ賜ヘリ又殊恩ヲ以テ彼ヲ危急存亡ノ時ニ救ヘリ
 或ル時彼レ小亞細亞ヲ周遊シ一ノ旅館ニ投宿セシガ其ノ
 夜、神使忽チ顯ハレ彼レヲ促シテ旅館ヲ出テシムボリカル
 プ神使ノ命ニ從フテ旅館ヲ出ルヤ否ヤ全館忽チ崩レ其ノ

内ニ在ル者皆壓死セリ
 聖ポリカルプ主教タリシ時「ハリステイアニン」等、迫害窘逐ヲ
 受クルヲ甚シカリシカ彼レ數年ノ間スミルナノ教會ヲ治
 理シテ大ニ老衰セリ大約降生百六十七年ノ比マルクアウ
 レリイアントニン帝ノ時小亞細亞ノ地方窘逐、特ニ慘酷無
 情ニシ「ハリステイアニン」等、最ト無慘ナル苦難ノ中ニ主ヲ讚
 揚感謝シツ、致命スル者夥多ナリ異教人及び特ニイウデ
 ヤ人ハポリカルプノ力アリ且ツ汲々トシ「ハリステイア」
 播布スルヲ以テ之ヲ忌ミ嫌ヒ聖ポリカルプヲ詰問セン
 強テ政府ニ迫リタリポリカルプハ敢テ死ヲ懼ル、
 一

ク從容トシテ縛ニ就クノ日ヲ待チ居タリシガ「ハリステイア
 ニン」等ハ至愛ナル主教ノ生命ヲ救ハントシテ暫時ノ間城
 外ニ難ヲ避ケ窘逐追捕ノ少ク息ム時ヲ待タン一ヲ請シカ
 ハ聖ポリカルプハ信者ノ勸メニ從ヒ近村ニ逃レ避ケ終日
 祈禱ヲ爲シテ日ヲ送レリ然レド彼レ早ヤ致命スヘキノ時
 近キタル前兆ヲ得タリ蓋ハ或ル日臥床ノ枕頭ニ火ノ燃ル
 ヲ見タルナリ然レト彼レ安然トシ偕ニ在ル者ニ告ケテ曰
 ク我レ必ズ主「ハリステイア」ノ爲メニ焚カルヘシト遂ニ其ノ
 隱レシ所見ハレシカバ其ノ預告セラレシ後三日ヲ經テス
 ミルナヨリ來リシ兵士等ポリカルプノ隠ル、村ニ至リケ

レバ聖主教ハ追捕ノ至ルヲ知り從容トノ曰ク願クハ我カ
 主神ノ旨成ルヲ得ント出テ兵士等ヲ迎ヘシガ兵士等ハ尊
 キ翁ノ謙遜ナル温顔ノ天ノ喜ヒニテ輝キシヲ見料ラス敬
 畏ノ心ヲ起シ敢テ彼レヲ捕フルコトナカリシガボリカルブ
 温言彼等ニ接シテ食ヲ進メ食間神ニ祈禱スルノ許諾ヲ請
 ヒテ懇切ニ祈禱ヲ爲シ其ノ仁慈ヲ感謝シ全地ノ教會及ビ
 囚縛セラル者ニ恩佑援助ヲ玉ハンコトヲ祈リ了リテボリカ
 ルブ出テ兵士等ニ接セシカバ兵士等彼ヲ驢馬ニ乗セスミ
 ルナニ護送セリ
 其ノ時スミルナノ二官吏道ニ衆人ノ常ニ敬愛セシ主教ニ

遇ヒ己レノ車ニ扶ケ乗セタリ二人ハ主教ヲ死ヨリ救ハン
 ト欲セシユヘ主教ニ唯一言タルモハリストスチ棄テシト
 言フ可シト種々言ヲ尽シテ勸メケルモ主教ボリカルブハ
 固ク拒キテ聽カザリケレバ官吏等怒リテ車ヨリ推シ落セ
 シカバ聖翁ハ地ニ什レ痛ク其ノ足ヲ傷ケリ主教ハスミル
 ナニ至リ法庭ニ出テケレバ異教ノ人々欣コヒ呼テ曰ク不
 虔ナルボリカルブ捕ハレタリトカク言ヒシハ彼等ハ聖ボ
 リカルブヲ以テ小亞細亞教會ノ首領トナセハナリ群衆ノ
 中ニ在ルハリスティアニン等聖ボリカルブト偕ニ天ヨリ聲
 アルヲ聞キタリ曰クボリカルブヨ振ヒ勇メヨト信者等大

ニ勵ミ聖翁モ亦特ニ力ヲ増シタリ
 法官ハポリカルプヲ論シテハリストスヨリ反離シ且ツ之
 ヲ罵詈訾セシメントセシガポリカルプ泰然ト答テ曰ク我レ
 八十六年ノ間我カ主神ニ奉事セシガ主ハ未ダ曾テ我ガ爲
 メニ惡ヲ降サズノ常ニ多クノ幸福ヲ賜ヘリ然ルヲ如何ノ
 ヲ彼ノ惡魔ノ如ク我カ主ヲ罵詈訾スルヲ得ンヤ法官曰ク爾
 若シ此ノ如クナレハ猛獸ニ投ケ與ヘント曰ク爾ノ意ニ任
 セテ行フ可シ唯我レハ己レノ善運ヲ以テ之ヲ惡運ニ易ヘ
 スト法官ハポリカルプノ生命ヲ救ハント欲シ之ヲ威服セ
 シメントシテ曰ク我レ爾ヲ烈火ニ投セント主教之ヲ聞キ

泰然トノ曰ク爾消滅スヘキ火ヲ以テ我ヲ恐嚇スルモ爾ハ
 主ヲ信セザル者ト法ヲ犯セル者ノ爲メニ備ヘラレタル永
 遠不滅ノ火ヲ知ラサルナリト法官ポリカルプヲ高聲ニ
 己レノ「ハリスタニアニ」タルヲ承認スルヲ命シタリ異教人
 及ビイウデヤ人之ヲ聞テ大ニ憤リ彼ヲ刑センヲ促シ呼
 テ曰ク彼レ全小亞細亞ヲ蠱惑シ且ツ「ハリスタニアニ」ノ師
 父ニシ我等ノ律法ヲ犯セシ者ナリ故ニ彼ハ焚カルベシト
 斯クテ法官ハ群衆ノ激怒スルヲ見テポリカルプヲ反離
 セシムルノ念ヲ絶テ命ノ薪ヲ積ミ釜ヲ備ヘシメ聖翁ヲ縛
 メ之ヲ投セントセリポリカルプ刑者ニ謂テ曰ク我ヲ縛ス

ルヲ爲ス勿レ我ニ望テ賜ヒシ主ハ我ニ苦ヲ忍ヒ釜中ニ在
 リテ動カサル力ヲモ賜ハントサレト刑者ハ彼ヲ縛シテ
 遂ニ釜中ニ投シタリボリカルプ祈リテ曰ク我が主神ヨ爾
 ニ感謝ス爾我ヲシテ致命者、表信者ノ數ニ加ヘ爾ノハリス
 トスノ苦ミノ杯ヲ飲ミ其ノ痛苦ニ與カル者ト爲シ玉ヘハ
 ナリ願クハ主ト共ニ復活シテ永世ノ生命ヲ受ルヲ得シシ
 メ玉ヘ願クハ爾ガ喜ヒノ祭ト爲シテ我ヲ受ケヨ神ヨ爾及
 ビ爾ノ子永遠ノ司祭長イエススハリストスヲ讚美ス聖神
 亦爾ト共ニス光榮權柄ハ今モ何時モ世々ニ歸ス「アミン」ト
 斯カリシ程ニ異教人及ビイウデヤ人ハ益々薪ヲ加ヘボリ

カルプカ祈禱ノ終リシ時ニハ火炎甚ク熾ナリシガ異ナル
 哉大ナル奇蹟顯ハレ衆人ヲ痛ク驚愕セシメテ神ノ力ヲ顯
 ハシタリ

火烟聖者ヲ周リ圍ミタレヒ少シモ聖者ヲ害フコトナク且ツ
 異香アリテ四方ニ迸^{ホトハシ}リタリ法官ハ一兵士ニ命シ長槍ヲ以
 テ聖ボリカルプヲ刺シ殺サシメシカバ流血淋漓、熱セシ釜
 ヲ冷シタリ

聖ボリカルプガ苦ミヲ受ル時行ハレタル奇蹟ニヨリテ驚
 カサレタルイウデヤ人等ハ法官ニ其ノ屍ヲ焚キ尽サント
 ナリ請ヒタリ其ハ彼等ハ信者等ガ聖ボリカルプヲ神トシ尊

ハソノヲ恐レシ故ナリ
 聖ポリカルプが致命セシ狀ヲ書シテ送リシ書翰ニ云フア
 リ曰ク異教ノ徒ハ我等が全世界ノ救ノ爲ニ十字架ニ死シ
 玉ヒシ我等ノ主ハリストスヨリ離レ且ツ他ノ神ニ從フベ
 カラズシテ主ヲ神ノ眞子トシ神トシテ尊ヒ致命者等ヲハ
 リストスニ習フノ弟子トシ主ヲ愛スルカ爲メニ難ヲ受ク
 ル者トシテ之ヲ敬ヒ而シテ其ノ永遠ノ光榮ヲ共ニセンコトヲ
 希望スルヲ知ラズ百夫長ハ法官ノ命ヲ受ケテ聖ポリカル
 プノ遺体ヲ焚キタリシカ我等ハ黄金ヤ寶石ヨリモ尊キ其
 遺骨ヲ灰中ヨリ拾ヒ集メテ之ヲ尊トヒ之ヲ敬ヒテ淨處ニ

埋葬セリ且ツ我等ハ彼所ニ於テハリストスノ爲メニ泰然ト
 シ苦難ヲ受ケ其ノ死ヲ以テ我等ノ眞ノ主ハリストスヲ信認
 シ主ヲ榮スル所ノ致命者ノ紀念ノ爲メ其ノ苦難ヲ受クル
 日ニ於テ謹テ祭ヲ行ハントス今兄弟マルクヲ以テ之ヲ爾
 等ニ遣ハシ告ク爾等讀ミ終ラハ之ヲ他ノ兄弟等ニ廻送セ
 ヲ他ノ兄弟等モ亦我等ニ是ノ如ク忠信ニ撰ハル、者ヲ
 降セシ神及ヒ我等ニモ己レノ恩寵ヲ滿チ被ラシメ其ノ永
 遠ノ天國ニ己レノ獨一子イエススハリストスニ因リテ入ラ
 シムルノ主ヲ讚美センガ爲メナリ國及ビ權能光榮尊貴彼
 ニ歸ス「アミン」ト斯クスミルナノ「ハリステイアニン」等カ己レノ

聖主教ガ苦難ヲ受ケテ致命セシ狀ヲ書シテ諸教會ニ送リ
 シ書ノ數句ヲ譯出セリ而シテ是ニ類セル書ヲ一教會ヨリ他
 ノ教會ニ遣ハセシハ各信者ヲシテ熱信ニ主ニ就カシメ且
 ツハリストスノ爲メニ難ヲ受メル聖致命者ノ紀念ヲ謹ミ
 行ハンカ爲ナリ惜哉當時ノ信者等ノ手記セシ所ノ書ハ嘗
 逐ノ時、異教人等嚴シク尋求シテ之ヲ燒キシ故、今ニ至テ存
 スル者甚タ稀ナリ

聖ボリカルフノ遺稿數編アリ其ノ中ニ「ハリストスティアニシテ」ノ
 生活ノ規則即チ我等ヲハリストスニ体合シテ生活セシメ
 ノカ爲メニ萬事ヲ忍ヒ玉フノ主ノ例ニ依テ撓ムコトナク耐

忍從順ニシテ信者ノ本分ヲ尽スベキコトヲ教ヘタリ

○前驅イオアンノ首ヲ初次發見セシ日ハ

イロデアダガ授洗イオアンヲイロドニ讒誣シテ斬首セシ
 後、其ノ復活センコトヲ懼レ首ト休トテ異ニシ其ノ首ヲイロ
 ドノ宮中不淨ナル場所ニ隠セシガ其ノ休ハ授洗イオアンノ
 弟子謹テセワステヤニ埋葬セリ斯クテハリストスヲ信ス
 ル者ノ一人ナリト聖福音書ニ記載セシイロドノ宰フーザ
 ノ妻イオアンナハ敵人ガ授洗イオアンノ聖首ヲ宮中ニ隠
 シシヲ探リ知リ竊ニ此ノ尊キ聖首ヲ盜ミ出シテ器ニ収メ
 恭シクエレオン山ニ在ルイロドノ莊園ニ葬リタリ茲ニ若

千ノ歲月ヲ經テイノケンテイト云ヘル敬虔ナル人アリ此
 ノ莊園ヲ贖ヒ求メテ此處ニ聖堂ヲ建立セントシテ地ヲ堀
 リ礎ヲ築キシ時、偶々尊キ聖首ヲ發見セリインノケンテイ
 奇蹟ト神ノ默示ニヨリ遂ニ大預言者授洗イオアンノ首ト
 ルヲ知リ最ト尊キ聖物トシテ之ヲ秘藏セリ是レ即チ主
 ノ前軀ハ首ヲ發見セシ第一回ナリインノケンテイ將ニ死
 セントスル先キ各處ニ異教人ノ跋扈スルヲ見其ノイオア
 ンノ聖首ヲ褻瀆センヲ恐レ之ヲ預メ防カントシテ先ニ
 發見セシ所ニ再ヒ埋メタリ
 其ノ後コンスタンティン大帝ノ時ニ至リハリストス教天下

ニ公布シ大ニ隆盛ナリシガ二人ノ修士アリ聖蹟ヲ巡拜シ
 イエルサリムニ至リシ時神ノ默示ヲ得テ授洗イオアンノ
 聖首ノアル所ヲ知り之ヲ堀リ出シ携ヘテ故里ニ歸ラント
 シ途次一人ノ貧シキ製瓶者ニ遇ヒシガ己レ長旅ニ疲勞シ
 自カラ之ヲ負フ能ハザルニ之ヲ負ハシメシカ忽チ前軀
 イオアン製瓶者ニ顯ハレ同行セシ修士ヨリ別ル、一チ命
 シケレバ彼レエメサニ歸リ聖首ヲ己レノ家ニ秘藏セリ是
 ノ時ヨリシテ其ノ家、祥アリ豊カコノ万事幸福ナリ製瓶者
 死ニ臨ミ其ノ妹ニ此ノ事ヲ告ケ己レ死セシ後、堪能ナルハ
 リステイアンニ^レ托シテ聖首ヲ守護セシム可シト命シタリ

斯クテ年移リ月更リテ後、如何ニセシケン聖者ノ首ハアリ
 イノ異端ニ迷ヒシ者ノ手ニ落チシガ其ノ人家屋ヲ没収セ
 ラル、時又聖者ノ首ヲ地ニ藏メタリ既ニシテ其ノ地ノ上
 ニ修道院ヲ建築シ第五世代ノ比、敬虔ナル掌院マルケルガ
 親ク前驅ノ告ヲ受ル迄、誰アリテ聖者ノ首ノアル處ヲ知ル
 者ナカリキマルケル之ヲ掘リ出タセシ後、皇帝マルキアン
 ノ詔ニ因リテエメサヨリハルキドンニ遷シ後又コンスタ
 ンティノールポリ城ニ遷シタリ是レ前驅イオアンノ首ヲ發見
 セシ第二回ナリ
 斥像異端ノ盛ナリシ時、聖首コンスタンティノールポリヨリコ

マシニ遷サレ後ナ久シク其ノ在ル所ヲ知ル者ナカリシガ
 降生八百五十七年三たび之ヲ發見シ更ニコンスタンティノ
 ールポリニ安置セラレタリ六月六日第三回ノ發見ヲ紀念セ
 リ

○コンスタンティノールポリ城ノ総主教聖タラシイノ

傳九日

タラシイハ第八世代ノ半コンスタンティノールポリ城ニ生レ
 富貴ナル紳士ノ子ナリ父母善ク之ヲ教育シテ主神ヲ敬畏
 スル心ヲ起カシメシカ彼レ能ク父母ノ意ニ從ヒ弱冠ニシテ
 才德兼備ノ人トナリ大ニ人望ヲ得既ニノ顯職ニ舉ケラレ

廟議ニ參與セリ

當時ノ、皇帝コンスタンティンハ尙ホ弱冠ニシテ母后イリナ
万機ヲ攝シ斥像ノ異端偏論、教會ノ秩序ヲ紊タシ平安ヲ害
セシカハ太后イリナハ正教ノ聖像ヲ敬フヲ恢復セント
スルモ先帝ガ偽教者ヲ保護セシ故其ノ餘勢尙ホ盛ナリ且
ツ總主教パワエル人ト爲リ仁善ナルモ天質柔弱ナレハ先帝
ノ時小膽ニシテ窘逐ヲ怖レ本心ニ反キ斥像者ノ議定セシ規
則ニ押印セリ然レト總主教ハ良心ニ責メラレ痛ク己レノ
過ヲ悔ヒ神ニ宥ヲ祈リ遂ニ總主教ノ寶座ヲ避ケントシ之
ヲ太后イリナニ上申シ堅忍不拔ニシテ正教ヲ守リ能ク教

會ノ安康ヲ恢復シ得可キ堪能ナル後任ヲ撰擇セラレシ
ヲ哀願シ且ツ自ラタラシイハ能ク是ノ重職ヲ受クルコト
モ相當ナルヲ奏シ直ニ職ヲ辞シ世ヲ捨テ祈禱禁食ノ間ニ
餘生ヲ送ラント欲セシガ其ノ後、數日ナラスシテパワエル
ニ忽然世ヲ逝リタリ
諸神品會合シテ其ノ後任ヲ撰ハントセシガ太后イリナハ
パワエルノ遺命ヲ議場ニ出シ之ヲ議セシムルニ衆人咸ナ之
ヲ賛成シ議ヲ決シテタラシイヲ撰舉セリ然レトタラシイ
ハ教會ノ斯、ル紛乱ノ時ニ當テ之ヲ治理スルヲ甚タ難
ク且ツ高位ニ就クニ當ラズト爲シ固辭シテ敢テ就カサリ

シモ衆人固ク推シテ聽カザレバ遂ニ其ノ意ニ從ヒ而シ其ノ擇ヒタル上ハ速ニ全地公會ヲ開キ爭論ノ疑問ヲ議定シテ教會ノ和親ヲ恢復ス可キヲ約セリタラシイ曰ク蓋シ我が神ノ教會ハ東西信仰一ニシテ互ニ相愛シ一致ス可キニ今將ニ東西分離セントス是レ全地公會ヲ要スル所以ナリト衆皆其ノ言ヲ然リトシ全地公會ヲ開設スルニ議決セリ而シタラシイハ教會ノ諸級ヲ累遷シテ遂ニ総主教ノ重職ニ上リタリ

彼レ総主教ニ舉ケラル、ヤ直ニ公書ヲ諸所ノ總主教及ビ東西ノ主教等ニ遣ハシテ公會ニ參與セシメ且ツ羅馬ノ「パ

ーパ」アドリアンニモ亦公書ヲ遣シタリ既ニ「アドリアン」ノ答書ハ威權ヲ弄シ不禮ノ言多クシテ他日東西分離スルノ一原因トハナレリ然レトニ主教ヲ遣ハシテ公會ニ與カラシメタリ

コンスタンティノールボリヲ公會ノ地トナシ大帝コンスタンティンノ遺營セシ聖堂ヲ以テ會場トナシ諸主教皆集マリタラシイ議長トナリ將ニ開場セントスルヤ否ヤ斥像者ニ黨セシ兵士等俄ニ聖堂ヲ圍ミ神ノ殿内ニ偶像ヲ入ル、ヲ許サズト言ヒ死ヲ以テ主教等ヲ嚇シタリ此レ斥像者ハ己レノ迷ニヨリ正教ノ信者ガ神及ビ諸聖人ノ肖像ヲ尊ムハ其

ノ畫ク所ノ板ヲ尊フニ非ラザルヲ知ラズシテ聖像ヲ以テ
 偶像ト稱スルニ至リシナリ
 斯クテ諸主教ハ爭乱ヲ避クルガ爲メ一時解散セシガニテ
 ヤ城ハコンスタンティノールニ較ブレハ異端ノ勢力稍々
 薄キガ故次年即チ降生七百八十八年更ニ公會ヲ開キタリ
 是レ即チ第七聖聖地公會ニシテ諸主教會スル者三百六十
 七人タラシイ又議長トナリ協心同力シテ教會ノ規則ヲ制
 定シ聖書ニ遵ヒ諸聖師父ノ教ヲ考ヘ聖像ヲ敬拜スヘキヤ
 否ヤノ問題ヲ議決シ其ハ聖像ヲ尊ミ敬拜ヲ爲スハ之ヲ以
 テ神ト爲スニ非ズ其ハ描寫セラレタル者ヲ記憶シテ之ヲ

敬拜スルナリト爲セリ

多年ノ間教會ヲ紛乱セシ疑問ハ斯ク議定セラレシカハタ
 ラシイハ只管教會ノ事務ヲ執リ法教ノ重職ヲ謹ミ其ノ総
 主教ニ擇ハル、ヤ直ニ家中ノ華美虛飾ヲ去リ大ニ節儉ヲ
 守リ其ノ財産ヲ以テ貧者ニ濟施シ或ハ病室ヲ營ミ或ハ神
 ニ嘉セラル、他ノ事業ニ充テ餘ス所ナシ且ツ己レノ所ニ
 來ル者ハ愛ヲ尽シテ之ヲ受ケ心ヲ用イテ其ノ請ヲ聞キ恒
 ニ吾レ來ルハ人ヲ役スルニアラス人ニ役セラル、カ爲メ
 ナリト云ヒ玉ヒシ主ハリストスヲ以テ己レノ儀範トナシ
 且ツ恒ニ言ヲ以テ書ヲ以テ人々ヲ教諭シ身自ラ諸善ノ儀

範トナリ屬下ノ神品ヲ獎勵シテ其ノ職ヲ勤メ敬虔魁勵シ
 テ教會ヲ治理セシメタリ
 然レト教會ノ無事平穩ナルヲハ久シク保ツ能ハズシテ一
 大困難起リ総主教ノ英斷ヲ用ウヘキ時至レリ、皇帝コンス
 タンテイン年己ニ長シケレハ(母后イリナノ攝政ヲ廢シ)自ラ
 万機ヲ執リシカ私慾ニ掩ハレ其ノ親族ニシテ皇后ノ侍女
 ナル者ヲ(仁慈ナルフエラレト)姪女ナリ十二月ヲ參看スヘ
 シ(愛シ皇后マリヤヲ去リテ之ヲ娶ツント欲シ而シ己レノ
 過ヲ掩ハンガ爲メ皇后マリヤハ我レヲ毒殺センコト計リ
 タリト誣ヒタリ近臣等ハ帝ノ威ヲ懼レ敢テ諫ムル者ナカ

リシカ総主教之ヲ聞キ大ニ不平ナリキ未ダ幾ハクナラス
 シテ帝一官吏ヲタラシイノ許ニ遣ハン己レノ望ヲ告ケ且
 ツ再婚ニ降福スヘキヤ否ヲ問ハシメタリシガタラシイ之
 ヲ聞キ使者ニ謂テ曰ク我カ皇帝自ラ是ノ如キ不義ノ例ヲ
 臣民ニ示スノ後何ノ術ヲ以テ國ヲ治ノ臣民ヲシテ清廉貞
 操ノ者トナサントスルヤ我レ之ヲ知ラザルナリ皇后ノ罪
 ナキハ我レ確ニ之ヲ知ル故ニ我レ再婚ニ降福センヨリハ
 寧ロ死スルニシカズ我レノ答ハ如此ニシテ凡ソ神品タラ
 ン者ハ皆將ニ是ノ如ク答ヘントス爾之ヲ帝ニ報セヨトコン
 スタンテイン之ヲ聞キ大ニ憂フレヒ衆人カ敬戴スル所ノ徳

義ナル総主教ニ陽ハコ反ク能ハズクラシイテ宮中ニ招
 キ言ヲ巧ニシテ己レノ意ニ從ハシメントセシガ総主教ハ
 敬虔ニシテ尊フヘキ一老人イオアント云ヘル者ト共ニ王
 ノ宮殿ニ至リケレバコンスタンティンハ彼ヲ優遇シ父ノ如
 クニ彼ヲ敬愛スルヲ陳ヘ而シテ後、皇后ヲ誣ヒシカ偽言少シ
 モタラシイテ迷ハス能ハズクラシイ顧忌スルコトナク侃々
 トシテ帝ヲ諫メテ曰ク帝ヨ神ノ法ニ背イテ事ヲ行フ勿レ
 眞理ニ向フテ竊ニ偽計ヲ施ス勿レ宜ク正議ヲ執リ公明正
 大ニ事ヲ行フコソ適當ナレ神ノ法ニ背キ密計ヲ逞ウスル
 勿レ爾明カニ皇后ノ罪ヲキト讒言ヲ以テ國ノ寶璽ヲ汚ス

ヲ知レリ故ニ我レ爾ノ合法ナル配偶ヲ解ク能ハス且ツ我
 レ爾ノ法ヲ犯セル婚配ニ降福スル能ハス且ツ爾、陽ニ主ノ
 法ニ背キシ時、爾ヲ敬戴シ得ヘキカ爾ニ聖機密ヲ他ノ者ト
 共ニ授クルヲ得ヘキカ我レ神ノ前ニ爾ニ告ク爾ハ帝クリ
 ト雖厄我ハハリストスノ聖機密ヲ領スルカ爲ニ祭臺ニ爾
 ノ名ヲ記載セズ蓋シ聖書ニ神品ニ謂フアリ曰ク我カ祭臺
 ヲ暴サシムルコト勿レト
 老人イオアントモ亦其ノ背理ノ行ヲ爲スベカラザルコト論
 シタリシモ帝ハ唯憤怒スルノミニシテ遂ニタラシイ及ヒ
 イチアント宮殿ヨリ逐ヒ出シタリ

其ノ後コンスタンティンハ皇后ヲ修道院ニ幽シ自ラ己ノ
 親戚ヲ娶リ一長老イオシフヲ得テ法ニ合ハザル婚配ニ降
 福セシメシガイオシフハ其ノ後教會裁判ニ於テ罰セラレ
 タリコンスタンティン帝ハ是ノ配婚ニヨリテ多クノ誹謗ト
 艱難トヲ招キタリ十一月ノ部聖フエオドルストデイトノ傳ヲ
 參看スヘシタラシイハ帝ノ斥像異端ヲ再興センコトヲ怖レ
 敢テ帝ニ抗抵セサリシモ是レヨリシテ帝ト親マズ唯自己
 ノ職權ヲ固ク守リ從容トシテコンスタンティン帝ノ窘逐強
 迫ヲ受ケ忍ヒタリ然レトコンスタンティン帝在位久シカラ
 ズシテ崩シケレハタラシイハ晩年ヲ平安ニ送り教會ヲ治

ムルコト二十五年ナリシガニキホル帝ノ時大約降生八百零
 六年ノ比、年老テ世ヲ逝リタリ彼レ己レノ造營セシフヲギ
 ヤ郡ボスフヲ城ノ修道院ニ葬ラレ其ノ墓頭ニ夥多ノ奇蹟
 顯ハレシト云

○十日

カザノ主教ポルフィリイハ生年二十五歳ニシテ修士トナラ
 ント欲シ富貴ナル父ノ家ヲ棄テ施生ノ十字架ヲ拜セント
 テイエルサリムニ至リ奇蹟ヲ以テ病ノ痊ルヲ得神ノ聖旨
 ニヨリテカザノ主教ニ立テラレタリカザ城始メ信者甚々
 鮮ウシテ異教人ノ強迫スル所タリシカ聖ポルフィリイ彼所

ノ主教トナリシ後多クノ異教人ヲシテハリストス教ニ歸
セシメ二十五年ノ間、神ノ教會ヲ治メ降生四百零一年安然
トシテ此ノ世ヲ逝リタリ

○十一日

此ノ日イサウリヤノ人レオ帝ノ時、聖像ヲ敬拜スルカ爲メ
多クノ窘逐ヲ受ケシデカポリノ表信者、聖プロコピイヲ紀
念セリ而シテプロコピイト偕ニ道ヲ修メシ聖ワシリイモ同
ク苦難ヲ受ケシガ彼レノ紀念ハ次日即チ三月十二日ニ行
ヘリレオ帝崩シ窘逐止ミシ時成徳ナル二人ノ表信者等ハ
始メテ青天白日ノ身トナリ心、安ラカニ道ヲ修メテ其ノ身

ヲ終ヘタリト云

○十二日

アレキサンドリヤノ總主教神品致命者聖プロテリイヲ紀
念セリ不當ナルデオスコルノ放逐セラレシ事ハ我等既ニ
聖フライウアンノ傳中ニ載セタリシカ聖プロテリイハ其後
任ニ擇ハレタリ斯クテエフティヒイノ偽教ハ第四聖全地公
會ニ於テ關除セラレタルモ是ノ偽教ノ爲メコ生セシ諸々
ノ紛乱ハ猶ホ止マズシテシリヤ及ヒエギペト地方ハ殊ニ
爭亂紛擾甚シク屢々血ヲ流スニ至リタリ斯ル紛亂ニ乘シ
テ己レノ利ヲ得ント謀カリシ人々ハハリストス教ニ背キ

テ人々ヲ煽動セシカバ諸城ノ民蜂起セリ是ノ騒亂ノ時聖
総主教ハ大「スポタ」ノ日ニ於テ洗禮室ノ中ニ殺害セラレタリ

○成徳ナル致命女エウドキヤノ傳十三日

ゲルマント云ヘル一人ノ修士アリ或ル日聖地ヲ巡拜シテ
歸途シリヤ州ノ都府イリオポリニ來リシガ此所ニ元ト相
知ル一人ノ「ハリステイアニン」アリケルガゲルマンヲ迎ヘテ
小房ニ宿セシメタリゲルマン將ニ寢テントシテ祈禱スル
ト漸々久シ少シク憩ヒ又聲高ヲカニ祈禱シ且ツ聖書ヲ開
キテ畏ルベキ主ノ審判ノ事及ヒ罪人カ罰ノ爲メニ受クヘ
キ永遠ノ苦ノ事ト義人カ賞トシテ賜ハル所ノ究リナキ福

樂ノ事トノ章節ヲ讀下シツ、幾回トナク悲嘆涕淚ノ時々
祈禱ノ言ヲ交ヘテ遂ニ聲ヲ收メタリ
抑々我等平生斷へ間ナク神ノ垂レ玉ヘル都テノ働キヲ視
心ヲ用イス輕々シク之ヲ看過セトモ都テノ事ハ人ヲ幸福
ニ導ヒキ玉フ神ノ旨ナレハ神ノ垂レ示シ玉ヘル事ハ一ト
シテ輕ンズヘキ事ニハアラス然レハ今ゲルマンガ涕淚シ
心ヲ用キテ献ゼシ祈禱ト讀經トハ神ノ旨ニ導カレシ者ノ
魂ヲ啓キテ之ニ神ノ律法ヲ知ラシムルノ媒トナラザルア
ラシヤ
茲ニゲルマンガ宿リシ隣房ニ一ノ壁ヲ隔ルノミニシテエ

ウドキヤト呼ヘル女住居セシガ此ノ女ハ容貌甚美麗ニシ
 テ資産最ト富裕ナレハ自ラ其ノ聞エ高カリシ彼ノ容貌ノ
 美ナルヨリ少壯ノ人々ヲ蕩カシテ不良ノ道ニ誘ビキ多ク
 ノ金ヲ得テ資産裕カニ此ノ世ノ歡樂ニ耽リテ善カラズ行
 ニ陥イリ魂ノトハ少シモ慮ハカラサリシカ忽チ目ヲ覺シ
 ゲルマンノ讀經ト祈禱トヲ聞キ始テ來世ノ審判ト苦難ト
 ナ知レリ而シ己レノ品行ヲ顧ミレハ一トシテ心ニ應ヘザ
 ルナク大ニ恐怖ヲ生シ安キ心ナク寢ル能ハザリシガ翌朝
 夙ニ起キ修士ゲルマンヲ招キ問フテ曰ク我レ前夜爾ノ讀
 ミシ書ヲ聞キシヨリ悲哀歎息胸中ニ滿チテ心安カラズ永

遠ノ苦ハ眞ニ罪アル人ニ降ルトセハ誰レカ救ヲ得ル者ア
 ラン願クハ奥旨ヲ明ニシテ我ニ教ヘヨトゲルマン言テ正
 ウシテ曰ク爾今ニ至ルマテハリストスノ事及ヒ恐ル可キ
 審判ノ事ヲ聞カザリシヤ且ツ爾ハ如何ナル宗教ニ循ヒシ
 者ナルヤトエウドキヤ答テ曰ク我ハサマリヤニ生レ宗教
 モ其ノ國人ノ守リシ所ノ者ナリ前夜ノ書ノ教訓ハ我レ初
 テ之ヲ聞キタリ抑々爾ノ讀ミシ書ニ載スルヲ聞クニ富且
 ツ貴キ人ノ天國ニ入ルハ最ト難シト我ハ資産多ケレハ彌
 増シ心中安カラズ何ヲ爲シテ宜シキヤ尽キザル生命ノ爲
 ニハ我レ喜ヒテ貨財ヲ捨ツヘクモ爾ノ神ハ富人ヲ何ノ

故ニ斯ク厭ヒ惡ミ玉フヤ是尤モ訝カル所ナリト一條ノ疑
 問チ起セシカハゲルマン直ニ説キ論シテ曰ク神ハ固ヨリ
 富メル人チ厭ヒ惡ミ玉フノ理ナシ然レト富メル人ハ心チ
 貨財ニ傾ケテ神チ忘ル、故神モ亦厭ヒ惡ミ玉フナリ豈ニ
 之ヲ以テ神チ議スルチ得ンヤト又言チ續イテ曰ク貨財チ
 儲フルニ亦道アリ善心ニテ富チ願ヒ而シテ神チ愛シ人チ憐
 レムノ心チ以テ爲ス者ハ固ニ方正ナレバ神ヨリ仁慈チ得
 ベシトイヘハ左ナクソ妄証、偷盜、罪惡、不義ノ心チ以テ富ヲ
 求メ之チ只己レノ逸樂ノ爲メニノミ用ウルキハ必ズ神ヨ
 リ嚴罰チ受クヘキナリトエウドキヤ聞キ了リゲルマンニ

向テ具サニ己レノ履歷チ語り如何ンセハ神ノ滛恩ト尽キ
 ザル生命チ受クルチ得ルヤ願クハ之ヲ教示セヨ我ハ永久
 ノ痛苦チ免カレ救チ得ンガ爲ニハ喜テ所有ノ貨財チ擲ツ
 ヘシ聖ナル父ヨ神我ノ貨財チ受ケテ永遠ノ生命チ我ニ賜
 ハントチ爾ノ神ニ祈レヨト云フニゲルマン曰ク汝ハ所有
 ノ貨財チ神ニ獻ゼントチ思ヘ凡神ハ貨財チ用ウルトナシ
 故ニ爾ノ貨財チ貧者ニ施濟セヨ然ルキハ神ノ聖旨ニ慚^カハ
 ン爾、貨財チ以テ救ヒチ得ンチ願ヘトモ貨財ハ爾チ救フ
 能ハズ神ノ仁慈チ受ケ救ヒチ得ンニハ己レノ罪惡ヲ悔ヒ
 改メ至心誠意神チ信シ聖洗チ受ケ新ナル生命ニ生レズン

ハ能ハズトエウドキヤ耳ヲ傾ケテ其ノ教訓ヲ聞キケレバ
 ゲルマン尙モ神ノ仁慈ノ事及ビ悔改ノ力ノ事ヲ種々説キ
 示シエウドキヤヲ導キ一ノ司祭ニ就キテ聖洗ヲ請ハシメ
 タリ司祭ハ今聖洗ヲ受クルヲ希フ者ハ誰ナラント思ヒシ
 ニ料ヲサリキ罪女エウドキヤナレバ大ニ驚キ何ノ言モナ
 カリケリエウドキヤ司祭ヲ見テ其ノ足下ニ平伏シテ曰ク
 願クハ我ヲ以テ「ハリスティアニン」ノ女トナセヨ我レ若シ「ハ
 リスティアニン」ノ女トナラザレハ永久ノ痛苦ニ陥ランコト
 知レハナリ然レド聖ナル父ヨ天國ノ欣喜ハ實ニ此ノ世ノ
 逸樂ヨリモ優レルガ我ガ此ノ世ノ富饒ハ金銀寶石ヲ積ム

山ノ如クニシテ種々ノ逸樂ニ飽クトイヘ天國ニ在リテ
 ハ實ニ之ヨリモ尙ホ大ナルヤト司祭因テエウドキヤヲ教
 ヘテ曰ク爾ハ己レノ智慧ヲ以テ此ノ世ノ惑ヨリ離レズン
 ハ永久ノ幸福ヲ思フコトダモ尙ホ難シ故ニ爾誇リト此ノ
 世ノ逸樂トヲ棄テ己レノ罪惡ヲ思フヲ神ノ赦免ヲ願フベ
 シトエウドキヤハ猶モ神ノ仁慈ヲ疑フ心アリ又司祭ニ問
 フテ曰ク我レ此ノ世ノ富貴歡樂ヲ捨ツルモ若シ天ノ幸福
 ヲ得ルコト能ハザレハ我が憂苦ハ夫レ幾何ヅヤ我レ今ヨリ
 神ノ我レヲ受ケ玉フヲ確カニ認メテ疑フナキヲ得ベキヤ
 ト司祭ハエウドキヤノ様子ヲ見ルニ信愛ノ心ニ乏シク此

ノ世ノ思想充盈ノ恐怖ヲ懷クノミナレバ今之ニ機密ヲ授
 クルハ尙ホ早シトナシテ之ヲ許サズ因テ七日ノ間、靜然獨
 居シテ祈禱禁食ヲ爲スヲ命ジ且ツエウドキヤニ最ト懇切
 ニハリストス教ノ深キ真理ト神ノ仁慈ノ限リナシ實ニ悔
 ヒ改ムル罪人ハ常ニ退ケスノ之ヲ憐ミ受クルヲ明シ又
 言ヲ續イテ曰ク此ノ世ノヲ棄テ、爾ノ智ヲ紛乱セシ孤
 疑ノ心ヲ遠ザケヨ是レ爾ニ善キ基ヲ建テ道ニ背カシメサ
 ルカ爲メナリ當ニ全心誠意ヲ尽シテ主ニ向フヘシ然ルレ
 ハ爾ハ言ヒ尽クス能ハザル神ノ渥恩ニ浴シテ深キ仁慈ヲ
 悟ルヘシ神ハ誣ミ遜リテ祈禱スル者ニ和ヲ寶ヒ之ニ光榮

ヲ現ハセハナリ爾、珍寶ヲ以テ飾リタル錦衣ヲ脱キテ貧者
 ノ衣服ヲ着、己ガ罪惡ノ深キヲ思ヒ常ニ犯セシ罪過ヲ悔ヒ
 改メテ新シキ生ヲ肇ムルノ力ヲ添ヘ玉フ神ノ深キ祐助ヲ
 願ヘヨ神ハ矜恤深ク慈惠多クレハ誠心ヲ以テ主ヲ尋ヌル
 者アレバ出テ、之ヲ迎ヘ罪人ノ悔ヒ改ムル者アレハ甚、之
 ヲ悦ビ玉ヘリト言終リテ別レタリ
 エウドキヤハゲルマンニ再ビ「ハリステイアコン」ノ生命ノ情
 狀ヨリ修士ノ務ノ事等ヲ問ヒ少選シシテゲルマンモエウ
 ドキヤノ爲メニ祈禱ヲ獻シ一週間ノ後ニ復タ訪ヒ來ルベ
 キヲ約シテ去リタリ

斯クテエウドキヤハ堅ク家僕ニ命シテ七日ノ間何人ニモ
 室内ニ入ルコト許ルサズ獨己ガ房ニ閉居シテ禁食祈禱ヲ
 爲シタリシカ早ヤ一七日モ過キケレハ修士ゲルマン約ノ
 如ク來リテエウドキヤヲ訪ヒタリエウドキヤ七日ノ間禁
 食スルノミナラズ日夜睡眠モセズ斷ヘ問ナク祈禱ヲ爲セ
 シユヘ形容稿レ氣力衰ヘ顔色憔悴シタレハ神ノ恩寵ヲ錫
 フ喜悅ノ光リハ著シク面ニ顯ハレ其ノ心愛ト望ノ二徳ニ
 盈サレタリエウドキヤ欣躍ニ耐ヘズゲルマンニ主神カ言
 ヒ尽ス能ハザル仁慈ヲ降シ奇異ナル顯現ヲ以テ己ガ信仰
 ヲ鞏メ玉ヒシ事ヲ告ケテ曰ク或ル時奇異ナル光華アリナ

我カ身ヲ照ラセシガ忽チ壯麗ナル神使顯レ我カ手ヲ援キ
 テ地ヲ離レ天國ニ上リ我ヲ姉妹ト呼ヒテ愛セシニ俄カニ
 恐ルヘキ惡鬼空中ニ顯ハレ出テ甚ク怒レル面色ニテ切齒
 シ神使ニ謂テ曰ク爾ハ此ノ魂ヲ天宮ニ携ヘ至ラントスル
 ヤ彼ハ自己ノ生命ヲ罪中ニ送り我ニ從テ我が愛スル所ト
 ナレリ然レバ彼レハ吾カ物ナリト進ミテ我ヲ神使ノ手ヨ
 リ奪ハントシ神使ハ之ヲ遣ラント爭ヒ護リシ時俄ニ天ヨ
 リ聲アリテ仁慈ナル神ハ罪過ヲ悔ヒ改メシ人ヲ喜ヒ救ヘ
 リ故ニ此ノ魂ヲメ己レノ功ヲ建テシムベシ我ハ彼レノ生
 命ノ終ルマテ之レト共ニ居ラント高朗ニ聞ヘケレハ惡魔

ハ忽チ消へ失セ神使ハ我ヲ家ニ携へ歸リテ罪人ノ痛ク悔
 ル時ハ天上ノ喜悅ハ甚タ多シ蓋ハ天ニ在ル仁慈ナル父ハ
 己レノ像ニ肖シ己ガ清キ手ニテ造成シ玉ヒシ人々ノ魂ノ
 滅亡スル事ヲ望マザレバナリ且ツ神使等モ人々ノ魂ノ道
 徳ヲ以テ修メ飾ルヲ見レハ實ニ欣ニ勝へシト言ヒ我カ身
 ニ十字ノ聖号ヲ畫シ天ニ向テ去レリトエウドキヤハ斯カ
 ル奇異ナル示現ヲ見シヨリ神ノ限リナキ仁慈ヲ望ムノ心
 胸中ニ盈チケレハ其ノ狐疑ハ何レノ時カ消失シ燃ルカ如
 キ愛ヲ以テ神ノ務ノ爲メニ己レノ生命ヲ神ニ獻セシ事ヲ
 心ノ中ニ決シタリ

斯クテエウドキヤハ司祭ノ許シテ得テ聖洗ノ機密ヲ受ケ
 新ナル生命ニ更生シテ復ビ此ノ世ニ心ヲ留ムルコトナシ前
 日ノ榮華ヲ棄テ貨財ハ勿論、金銀珠玉珍寶ノ諸具、綾羅錦繡
 ノ衣裳等凡ソ有ル所ヲ以テ或ハ聖堂ノ費或ハ貧人ノ濟施
 等ニ用フヘシト司祭ノ前ニ出シ又日ゴロ使役セシ僕婢ニ
 若干ノ財ヲ與へ之ヲ解キテ自由ノ身トナシ之ニ謂テ曰ク
 我レ今爾等カ暫時ノ累ヒタリシ奴僕ノ繫キヲ解ケリ爾等
 自カラ神ニ向ヒ惡魔ノ永キ繫キヨリ免カレ神ノ爾曹ヲ以
 テ己レノ子ト爲シ玉ハンコト務メヨト最ト叮嚀ニ説キ諭
 シタリ

後エウドキヤハ神ノ法律ニ身ヲ委ネ新ナル生命ヲ以テ虔敬ニ世ヲ送ラント心ヲ固ク定メシ故恭虔ナル女子等カ己レノ身ヲ神ニ献シ常ニ祈禱禁食シテ多クノ苦難ヲ甘シ嘗ムル修道院ニ導キ到ラントナゲルマシニ請ヒタリシガ其ノ請ノ如クナリシカバエウドキヤ修道院ニ入り諸々ノ修女等ト道ヲ勵ミ神ニ事ヘ晝トナク夜トナク己レノ罪過ヲ悔ヒ涕泣シテ祈禱スルノ外他事ナカリキエウドキヤハ此ク己レヲ慎ミ身ヲ修ムルノ嚴肅ナルヨリ衆人ニ敬戴セラレシカ後、此ノ修道院ノ掌院世ヲ逝リケレバエウドキヤハ衆修女ノ望ニ依リテ其ノ後任ニ舉ケラレタリ

再説イリオボリ城ノ人々ハ彼ノ容色婉麗ナルエウドキヤガ高遜セシヲ憂悶シ衆クノ少年等ハエウドキヤヲ誘ヒ再タヒ前日ノ悪行ニ歸ラシメント企テシガ中ニモフィロストラトト云ヘル一人ノ少年ハ殊ニエウドキヤノ容色ニ眷戀セシカバ其ノ高遜セシヲ憂悶スルコト少ナカラズ如何ニモシテエウドキヤヲ説キ迷ハシテ再タヒ此ノ地ニ歸ラシメントシテ遂ニ自ラ修士ノ衣ヲ裝ヒエウドキヤガ遁レシ修道院ニ至リシガ其ノ處ノ修道院ニテハ少年ヲ受ケザリケレバ彼レ又近隣ニ在ルゲルマンノ修道院ニ至リゲルマンニ面會シ言語ヲ詐リ飾リ恰カモ虔敬ナル人ノ如ク我ハ此ノ

世ノ榮ヲ避ケ誘ヲ禦キ諸徳ヲ修メ其ノ功勞ニヨリテ我が
 魂ノ救ヲ求ムル者也」ト眞シヤカニ陳ヘシカゲルマン彼ヲ
 受ケズシテ曰ク爾年齡猶少ナシ抑々力ヲ極メテ靈ノ戰闘
 ニ慣レシ我等ノ如キモ猶難ニスル所ノ勞苦ト貧困トナ爾、
 如何ニソ之ヲ堪ヘ得ルヤ」トフィロストラト曰ク我レ設令年
 少シト雖厄豈ニ功勞ノ成ラザラン師父ヨ彼ノエウドキヤ
 ナ見ヨ彼ハ神ニ勤メントシテ有ル所ノ財寶ヲモ捨テシニ
 非ラズヤ聖ナル父ヨ我レ明ヲカニ爾ニ告ク吾ハ彼ノエウ
 ドキヤノ行ヲ見テ熱キ信ヲ起シタル者ナリ彼レ年少ノ容
 色美麗ナルモ尙ホ主ハリストスノ跡ヲ履ミ貧困勞苦ノ窘

キ道ヲ行カンガ爲ニ榮華ト逸樂ヲ謝棄シタリ何ツ我レノ
 ミ此ノ行ヲ成ス能ハザルノ理アラシヤ我レ若シ一タヒエ
 ウドキヤヲ見ルヲ得バ彼ノ言ト行トハ我レニ新ナル力ヲ
 與ヘテ徳ヲ修ムルノ助ケトナラント述ヘタリシカバゲル
 マンハ容易ニ其ノ巧言ヲ信シ數日ノ後其ノ請ヲ許シテ乳
 香臘蠟ヲ送ラントスル時堂役者ト共ニ彼ヲエウドキヤノ
 居リシ修道院ニ遣ハシタリ
 斯クテフィロストラトハ堂役者ニ伴ナハレ修道院ニ至リテ
 見ルニエウドキヤハ其ノ容貌瘠セ衰ヘテ青白ニ變シ甚タ
 憂愁悲歎ノ狀ニテ復タ前日ノエウドキヤニ非ザレハ是レ

ソ昔日容色ノ婉麗ナルヲ以テ全イリオボリヲ幻惑セシ者
トハ見ヘサリケレバフィロストモ初メハ之ヲ知ラサリ
シガ漸クニシテ其ノエウドキヤナル事ヲ悟リ其ノ側ハラ
コ人ナキヲ窺ヒエウドキヤニ向テ曰クエウドキヤヨ余レ
今來リテ爾ヲ見ルニ誰カ爾ヲ誘フテカ、ル厭ヒ惡ムヘキ
此ノ修道院ニ來ラシメシヤ誰カ爾ノ身ヲ圍繞セシ榮華ヲ
捨テカ、ル貧シキ姿ニ替ヘシヤ爾ハ人ノ前ニ婉麗ナル姿
ヲ隠シ禁食ヲ爲シテ身体ヲ疲ラシ其ノ美目ノ光ヲ暗マス
ハ是レ爾ガ過ナラズヤ爾熱思セヨ疇昔爾ハ如何ナル榮華
ノ中ニ在リ全イリオボリノ人々ハ如何ニ爾ノ婉麗ナル姿

ニ驚嘆セシヲ今ヤ爾ノ隱遁ヲ悲嘆セサル者一人モナシ然
レハ此ノ貧シキ修道院ヲ去リ其ノ厭ヒ惡ムヘキ衣服ヲ脱
キ勞苦節制ヲ止メ我ト偕ニ還リテ疇昔ノ如シ榮華ノ中ニ
歡樂ヲ極メテ世ヲ送ルヘシ爾ハ先キニ己レノ財産珍寶ヲ
貧困ナル人々ニ分チ與ヘ今ヤ一物ノ餘シナキモイリオボ
リ城ノ人々ハ爾ノ爲ニ謀リテ財産ヲ與シ再ヒ榮華ヲ極メ
シメントシ爾唯我ト共ニ城ニ還ルヘシト辞巧ニ其ノ志
ヲ奪ハントシケレバエウドキヤ心中怒ヲ含ミテ此ノ言ヲ
聞キ居リシガ忽チフィロストラトナ睨ミ聲ヲ勵マシテ神ハ
余ヲ誘惑スルカ爲メニ來リシ爾ヲ罰シ玉ハント云ヒケレ

バ少年フロストヲト忽然氣ヲ失テ死人ノ如クエウドキヤ
 ノ足下ニ伏シ倒レタリ是ノ爲ノイダラフ体ヲ見テ人々馳セ來リ手ヲ
 尽シテ扶助スレド何ノ効モナカリケリ此ノ夜エウドキヤ
 ハ天ヨリ聲アルヲ聞ク曰ク爾ヲ祈禱セヨ我レモ少年ヲ復
 起シテ我ニ向ハシメン」トエウドキヤ直ニ起テ祈禱ヲ爲シ
 ケレハ已ニ倒レシフロストヲト忽チ大夢ノ覺メシ如ク起
 テ曰ク福ナルエウドキヤ眞神ノ婢ヨ願クハ我が痛悔ノ心
 ナ納レ我が罪ヲ免セヨ余レ今初テ爾ハ仁慈ニシテ且ツ能
 カアル神ニ務ムルヲ知レリ」ト此レヨリシテフロストヲト
 ハ反正ニ最ト虔敬ナル者トハナレリ

然レト其ノ後イリオボリノ人々ハエウドキヤヲ惡ムト甚
 タシクシテ彼ヲ窘逐セントテ企テ法廷ニ訴ヘテ曰クエウ
 ドキヤハイリオボリ城ヨリ取り聚メタル財寶ヲ以テ國賊
 ト喚傲サレタル「ハリステイアニン」等ニ與ヘシ」ト因テエウド
 キヤヲ法廷ニ繫キタルモ神ハエウドキヤニ奇蹟ヲ行フノ
 カヲ與ヘ政府ノ有司等及衆民ニハリステスノ教ヲ解キ知
 ラシメ眞神ニ向ハシメ身モ亦平安ナリシガ此ヨリ若干ノ
 星霜ヲ經テ政府ニハリステスノ教ヲ惡ム者又起リシカバ
 エウドキヤヲ召ビ出ダシテ裁判ヲ爲セシガ此ノ夜エウド
 キヤ夢ニエウドキヤヨ堅ク信仰ヲ守レ今爾ハ我カ名ヲ承

認スルノ時至レリ爾苦難ヲ受クル時我レ爾ト共ニス爾恐
 懼ヲ懷クコトナカレトノ聲ヲ聞ケレハエウドキヤ少モ恐怖
 ノ色ナクシテ有司ノ前ニ立テ儼然トシテ己レノ信仰ヲ陳
 ヘ神ノ婢タルヲ表シケレバ有司大ニ怒リテ恐ルベキ苦ミ
 ニ當テシカエウドキヤカ忍耐ノ力甚ク強ク諸ノ苦難ヲ忍
 ビ受ケ奇蹟ヲ以テ有司ノ心ヲ啓キケレバ彼等忽チエウド
 キヤノ足下ニ伏シ大聲ニ呼テ曰ク我ヲ「ハリストスティアニソ」ト
 ナセヨ蓋ハ爾ノ承認セシ神ハ大ナレハナリト遂ニ反正シ
 テ信者トナリシトソ是ヨリソエウドキヤハ衆多ノ人ヲ異
 實ノ教ニ就カシメ年老ル迄平安コシテ己レノ修道院ニア

リテ徳ヲ修メ晩年ニ及テ窘途又モ盛ニ起リシカバ有司ワ
 クンライイ、エウドキヤガハリストス教ヲ宣ヘ傳フルヲ聞キ
 之ヲ捕ヘ殘忍暴虐ナル處治ヲ爲シ遂ニ劊ヲ以テ其ノ頸ヲ
 刎ネタリトソ

○神品致命者キリネヤノ主教聖フェオドトノ苦難

十四日

聖フェオドトハガラテイヤノ人ナリ第三世代ノ末ツ頃正教ヲ
 播布セントシテキフル島ニ至リシガ其ノ有徳ナル言行ハ
 大ニ異教人ヲ感動セシメ多人信シテハリストス教ニ歸シ
 遂ニフェオドトヲ撰擧シテキリチヤ城ノ主教トナシタリ

彼レ多年ノ間、教會ヲ治理シ具サニ辛苦艱難ヲ嘗メ死ヲ願
 ミス力ヲ尽シテイイススハリストスヲ傳ヘタリ慘酷ナル
 窘逐者リキニイ帝ノ時ニ至リテ市尹サウインナル者吏ニ命
 シテフエオドトヲ裁判所ニ拘引セントセシカバ主教之ヲ悟
 リ吏ノ至ルヲ待タスシテ自ラ市尹ノ許ニ至リ之ニ謂テ曰
 シ我ハ是レ爾ノ尋ヌル所ノ者ナリ我レ敢テ逃レ隠レスシ
 テ眞ノ神ヲ承認シンガ爲メニ來レリト市尹命シテ之ヲ鞭
 撻セシメ且ツ曰ク見ヨ爾ノ狂暴ガ爾ヲ代訴スルヲ主教答
 テ曰ク若シ爾ノ靈眼ヲシテ明カナラシメハ爾今狂暴ナリ
 ト言ヒシ我ノ勇敢ガ我ヲ代訴スル者ナルヲ悟ラシ然レト

爾ノ靈眼ハ盲ナレハ我ガ爲メニ備ヘラル、幸福ヲ見ル能
 ハズ爾、我カ永遠無尽ノ幸福ヲ念フテ苦難ヲ覺ヘザルヲ知
 レ蓋ハ肉体ノ苦痛ハ魂ノ欣喜ニ勝ツ能ハザレハナリト市
 尹曰ク爾、我ヲ欺クコ勿レ我レ爾カ我等ノ諸神ノ威力ヲ識
 認セザル間ハ爾ヲ苦メン我レ之ヲ行フ權アレハナリト聖
 主教曰ク爾我ヲ脅嚇スルモ我レ之ヲ恐怖セズ蓋ハ我レハ
 苦難ノ中ニ在リテ能ク我ヲ助クルノ主ニ奉事スレハナリト
 ト此ニ於テ市尹命シテ尖銳ナル鐵鉤ヲ以テ主教ノ膚肉ヲ
 搔爬シケルニ能ク之ヲ忍ヒ受ケ主ニ祈リテ曰ク主イイス
 スハリストス十字架上ニ在リテ死ヲ亡ホシ惡魔ノ力ニ勝

ナ使徒ニ至上ノ威力ヲ玉ヒ三童ヲ烈火ノ中ニ守護セシ者
 ヲ我ヲモ亦苦難ノ間ニ鞏固セヨ蓋シ爾ハ人々ノ脆弱ニシ
 剛毅常ナキヲ知レハナリ願クハ脆弱ナル我ニ恩佑ヲ賜ヒ
 衆ヲソ爾ハ爾ヲ呼フ者ヲ鞏固セル神主ナルヲ知ラシメヨ
 ト吏ハ猶ホフエオドトナ苦シメテ止サリシカ主ハ其ノ祈禱
 ナ聽キ入レ從容トシテ諸難ヲ耐ヘ忍フノ力ヲ賜ヘリ吏主
 教ヲ拷治スル稍々久ウシテ後又獄舎ニ下シタリ
 獄舎ニ到ル途次、聖主教ハ己レニ追從スル者ニ能ク堅心ソ
 主ヲ呼ヘハ苦難ノ中ニ在リテ鞏固セラレ且ツ主ハ義ノ爲
 ニ窘迫セラレ、者及ヒ主ノ名ノ爲ニ死ヲ致ス者ニ永遠無

尽ノ生命ヲ賜フ可キヲ教訓シケレハ人々謹テ聖致命者ノ
 言ヲ聽キ群ヲ爲シ主教ヲ送リテ獄門ニ至レリ
 數日ノ後、市尹再ヒ主教ヲ召シテ曰ク爾既ニ諸難ヲ受ケ爾
 ノ神ヲ呼フノ空シキヲ悟リ再ヒ苦ヲ受ルヲ避クルナラン
 今爾ハ祭ヲ諸神ニ獻ズ可シト聖致命者色ヲ正ウソ答テ曰
 ク我レ更ニ復タ苦難ヲ受ケントナ願フ也蓋シ我レ主ヲ呼
 フノ聲ハ猶ホ未タ衰ヘズト市尹命シテ致命者ヲ鐵盤ニ載
 セ火ヲ其ノ下ニ放チタルモフエオドト猶ホ能ク主ノ恩佑ニ
 ヌリテ耐ヘ忍ヒケルニ主神カ斯ク致命者ヲ助クルヲ悟ラ
 ザリシ市尹ト來會セル群衆ハ驚愕ニ堪ヘサリキ市尹曰ク

爾「ハリスティアニオン」等自ラ其ノ身ヲ愛惜セザル者ニ焉ン
 仁慈ヲ與フルヲ得ンヤ」ト聖「フエオドト」答テ曰ク爾若シ我カ
 主神ノ仁慈ナルヲ以テ片時ノ苦難ノ爲メニ永遠無尽ノ生
 命ヲ賜フヲ知リシナハ爾モ亦自ラ主ノ爲ニ苦難ヲ受クル
 ナ願フナル可シ然レト爾等偶像ヲ拜シテ自ラ己レノ魂ヲ
 暗マシ塵世ノ事ノミ慮カリ限リアル生命ヲ戀ヒ塵世片時
 ノ幸福ノ爲メニ永遠限リナキ幸福ヲ犠牲ニシントス噫何
 ンゾ其ノ愚ナルヤ」ト市尹之ヲ聞キ其ノ苦シミヲ増サシメ
 聖「フエオドト」ノ剛毅ナル心ヲ壓ヒントスルモ彼レ猶ホ自若
 トシテ祈禱シ己レノ苦痛ヲ忘レ正教會ノ安和ト窘逐ニ遇

ヒシ「ハリスティアニオン」等ニ耐忍ノ力ヲ玉ハシ「フエオドト」ヲ新リタリ
 此ニ與カル人々ノ中「フエオドト」ノ剛毅忍耐ナルハ至ク神ノ
 力ニ依ルヲ悟リ眞神ヲ承認シ聲高ラカニ神ヲ讚揚スル者
 アリタリ市尹命シテ又「フエオドト」ヲ獄舎ニ下サシメシカ後、
 幾クモナクシテ「コンスタンティン」帝ハリキニイト戰テ之ヲ
 破リ詔ヲ出シテ正教ノ徒ヲ迫害窘逐スルヲ禁シ而シハ
 「リストス」ヲ承認セルカ爲メ獄舎ニ繋カル、「ハリスティアニ
 オン」等ヲ放免セリ「フエオドト」モ亦青天白日ノ身トナリ獄舎ヲ
 出テシ後「キリヤニ」在リテ尙ホ主教タル「二年」迄ニ安然
 トシテ世ヲ逝リシト云フ

○聖致命者エウトロビイ、クレオニコク及ビワシリウス
クノ苦難 十五日

フエオドルテイロンカボント郡アマシヤ城ニ致命セシ後、幾ク
モナクシテ彼ヲ拷治セシ市尹死シ新任ノ市尹至リヌ彼モ
亦タ酷ク「ハリストステアニコ」ヲ窘逐スル者ノ一人ナリ彼レ一
日先治者ノ政略如何ント裁判ノ諸記録ヲ調ヘシ時フエオド
ルテイロンノ調書アリ此ニ於テ市尹出テ、致命者ノ破毀セ
シ邪神ノ殿ニ至リ從者ニ問フニフエオドルト偕ニ捕縛セラ
レシ「ハリストステイケニコ」等今何所ニアルヤヲ以テス從者曰ク
彼等今尙ホ獄舎ニ在リト市尹命シテフエオドルテイロンノ親

友エウトロビイ其ノ兄弟クレオニコト聖致命者ノ姪ワシ
リスクノ三人ヲ召致セシメタリ
此ノ「ハリストステアニコ」ナル非罪ノ囚者等ハ獄舎ニ在ル時神
ノ聖言ヲ講明シテ同囚ノ多ノ異教人ニシテ邪神ヲ拜スル
ノ徒ヲハリストステニコ歸セシメ自ラ謹遜忍耐シテイイスス
ハリストスノ僕タル者ノ本分ヲ行ヒ愛ヲ尽シ憐ヲ加ヘテ
同囚者ノ憂ヲ分チ心ヲ堅ウシテ主神ヲ呼ビ從容トシテ諸
難ヲ受ケシカハ監吏之ヲ見テ遂ニ主ヲ信スルニ至リタリ
吏、獄ニ至リ市尹ノ命ヲ監吏ニ傳ヘケレハ監吏直チニ獄ニ
入リ三人ノ「ハリストステアニコ」ニ謂テ曰ク起テヨ爾等久シク

待チタル時至リ今市尹爾等ヲ召喚セリ願クハ爾等苦ヲ受
 ル時吾ヲ忘ル勿レト三人速ニ出テントスル時同囚ノ者等
 彼等カ苦難ヲ受ケ死ニ至ランコト恐レ悲泣哀惜セシカ聖
 エウトロピイ彼等ヲ慰メテ曰ク我カ兄弟ヨ哭スルコト勿レ
 我等復タ相ヒ見ルコト得ン唯我等ノ爲メニ祈禱シ且ツ天
 下ノ人咸ク神ノ廣恩ニ浴シテ偶像ヲ拜スル者無キニ至ル
 夫主ニ願フ可シト言畢テ出テタリ
 斯クテ三人ハ市尹ノ許ニ至リケルニ市尹ハエウトロピイ
 カ其ノ朋友ニ敬戴セラル、ヲ聞キ先ツ之ニ向ヒ温言其ノ
 姓名ト其ノ職トヲ尋問シケルニエウトロピイ從容トシ詳

カニ市尹ノ問ニ答ヘケレハ市尹曰ク爾容貌才智共ニ優美
 ナリ爾必ス哲學ヲ學ヒシナランエウトロピイ曰ク我是ノ
 智識ヲバリストスヲ呼フコトヲ教ヘシ書ヨリ得タリト
 市尹曰ク爾諸神ニ祭リヲ獻シ且ツ爾ノ朋友ヲ諭シテ與ニ
 之ヲ爲カシメヨ然ル時ハ我レ皇帝ニ奏シ爾ヲ賞スルニ夥
 多ノ恩賜ヲ以テシテ爾ヲ榮セン若シ爾我カ言ニ從ハズシ
 テ祭ヲ獻ゼズンハ罰スルニ嚴酷ナル苦難ヲ以テセント
 エウトロピイ之ヲ責メテ曰ク爾利ヲ以テ我等ヲ誘ヒ或ハ
 恐嚇ヲ以テ我等ヲ壓服セント欲スルヲ止メヨ吾人ノ魂ノ
 爲メニ却テ屢々危儉ヲ致ス富貴榮達ナル塵世ノ幸福ハ我

等ノ爲メ果メ何ノ益アラシク我等皆ハリストスノ爲ニ難キ
 受ケ死シントヲ希フ也ハリストスハ我等ノ富貴尊榮ナリ
 主ハ生命ノ源ナリ主ハ我等ヲ守護セリ主若シ之ヲ欲セハ
 我等ヲ爾ノ手ヨリ脱スルモ何ノ難キカ之レアソト是ニ
 於テ市尹ハエウトロビイヲ苦シムルヲ命シ而シテレオ
 ニク及ヒワシリスクニ問テ曰ク爾等何ヲカ謂ハントスル
 ヤ爾等我カ言ニ從ヒ祭ヲ諸神ニ獻セソカ若クハエウトロ
 ビイト與ニ苦ミテ受ケントスルカト二人答テ曰ク我等モ
 亦眞神ヲ承認セシユヘユウトロビイト與ニ苦難キ受ケン
 トヲ希フ也ト市尹命シテ之ヲ鞭達シ流血淋漓川ヲ爲シタ

ルモ彼等ハ魂ヲ神ニ向ケ剛毅ニシテ能ク其ノ難キ受ケ忍
 ヒタリ

聖エウトロビイ呼テ曰ク万善至仁ナル神義人ヲ救ヒ罪人
 ナ正路ニ導ヒクノ主ヨ爾ノ僕フエオドルヲ助ケシ如ク我等
 ナ助ケ我等ニ忍耐ノカヲ賜ヘヨクレオニク及ヒワシリス
 ク和シテ曰ク「アミン」ト此時窘逐者ハ見エザル力ニテ歴止
 セラル、者ノ如ク俄ニ刑ヲ止メタリ而シテ致命者等ハイイ
 ススハリストスカ光榮ニ坐シフエオドルモ其ノ傍ニ坐スル
 ナ見且ツ聲アリテ曰ク我レ爾等ノ苦難ヲ目撃シ爾等カ死
 ニ至ル迄之ヲ保護シ爾等ノ姓名ヲ生命ノ冊ニ記載セント

致命者等是ノ休徵ヲ見テ大ニ鞏固セラレ神ヲ讚揚シテ感
 謝セリ時ニ刑吏等ハ市尹ノ許ニ至リ彼等ヲ許サントテ請
 テ曰ク我等ハ「ハリステイア」^ア「^ロ」^ソヲ苦シムルニ忍ビズ願クハ
 之ヲ許セヨ」ト市尹之ヲ聞キ驚嘆ノ曰ク嗚呼彼ノ幻術者何
 ノ術ヲ用テ我カ僕ヲ陷イレシヤ」ト且ツ多人刑場ニ在テ其
 ノ休徵ヲ目撃セシガハ市尹ニ謂テ曰ク是レ幻術ニ非ス」ハ
 リステイアニ「^ソ」ノ神其ノ僕ヲ守護スルナリ我等ハ彼等ノ王
 ハリステイアヲ見及ヒ天ヨリ聲アルヲ聞キ且ツ死セシフエオ
 ドルノ猶ホ生存セシヲ見タリ」ト市尹曰ク何ソソ我レ獨リ
 何等ノ者モ見ルナク且ツ何等ノ聲モ聞クナキヤ」エウトロ

ビイ市尹ニ謂テ曰ク爾靈目ヲ以テ視ザル故ニ天ニ顯ハル
 、ノ休徵ヲ見ザルナリ此ノ世ノ王(魔鬼)ハ爾ノ心ヲシテ頑
 ナラシメ爾ノ身ニ預言者ノ言應ズルヲ致セリ曰ク其ハ耳、
 聽ニ^モ「^ク」カ^ラシ^メ且^ツ其ハ目^ヲ閉^ツ、^(イサイヤ)六章十節ト
 是ニ於テ市尹ハ民ノ騒動スルヲ見テ彼等ヲ拷治スルヲ止
 メ命シテ獄舎ニ下サシメケレバ囹圄ニアル者皆大ニ喜ヒ
 彼等ヲ迎へ呼テ曰ク天地ヲ創造セシ主ノ名ニ依リテ我等
 ナ扶助セヨ」ト斯クテ市尹ハ彼等ヲ處治スルノ法ヲ熟思ス
 ルモ策ヲ得ス因テ屬吏ニ計リテ曰ク是ノ人々ヲ處スルニ
 何ノ法ヲ以テスヘキ蓋シ民皆ナ騒擾セリ爾等之ヲ處スル

ノ良策トキヤ「ト一人進テ曰ク速ニ之ヲ刎首ス可シ若シ爾
 之ヲ躊躇セハ民咸ナ諸神ヲ棄テ彼等カ傳フル所ノ神ニ歸
 セン」ト然レト市尹ハ彼等ヲ死刑ニ處センヨリハ寧ロ彼等
 ノ心ヲ奪フテ主ニ反離セシメン「ト望メリ蓋ハ「ハリスティ
 アニン」等カ從容トシテ死ニ就キ節ヲ守ルハ却テ他人ノ信ヲ
 堅ムルニ足り而シテ信者ノ數、日一日ヨリ増加シ若シ之ニ反
 シテ能ク彼等ノ心ヲ傾クハ「ハリストス」ニ反離セシメハ其ノ
 餘響ハ他ノ「ハリスティアニン」等ニ及ホサント思ヘハナリ故
 ニ復タ温言ヲ以テ彼等ヲ諭シ誘フニ利ヲ以テセリ市尹、エ
 ウトロピイニ謂テ曰ク爾今我カ言ニ從ヒ諸神ニ獻祭セキ

ルヤ聖エウトロピイ答テ曰ク吾ハ我カ主神ニ祈禱スルノ
 外他念ナシ「ト市尹又曰ク爾坐シテ我等ト偕ニ食セヨ」致命
 者色ヲ正ウソ曰ク否ナ我レ爾等ト偕ニ坐セス蓋シ録ニ云
 フアリ曰ク惡者ノ謀ニハ行カズ罪人ノ途ニハ立タズ侮慢
 ハ位ニハ坐セサレハ其人、斯レ福アリ又曰ク不信者ト稱
 スル勿レ蓋シ義ハ不義ト何ハ偈カ之ニ有ラン光ハ暗ト何
 ハ交リカ之ニ有ラン」ト市尹曰ク爾天質惡ナリ「エウトロピ
 イ曰ク我レ天質惡ナルニアラズ我が主ノ誠命ヲ遂ルナリ」
 是ニ於テ市尹ハ又優意論シテ諸神ニ獻祭セシメントシテ
 曰ク爾ノ中一人タリトモ獻祭ヲ行ヒ民ヲシテ之ヲ見テ諸

神ニ背カサラシメヨト

エウトロピイ答テ曰ク我ヲシテ惡ヲ爲スノ先導者ヲラシ
メント欲スルカ我カ主謂ヘルアリ曰ク凡ソ此ノ我ヲ信ス
ル小子ハ一ヲ罪ニ陷ル者ハ鞣石ヲ以テ其ノ頸ニ懸ケ
海ニ投セヨ（馬太八章六）ト我レ何ソ人ヲ罪ニ陷イルベケンヤ此
ノ時市尹ハ金銀財寶錦衣ヲ持テ來ラシメ致命者ニ謂テ曰
ク爾若シ衆人ノ前ニ在リテ諸神ヲ拜シ之ニ獻祭セント謂
ヒシナラハ悉ク之ヲ爾ニ與ヘン而ル後爾ノ神ニ奉事スル
ハ爾ノ意ニ任シテ之ヲ問ハストエウトロピイ曰クハリス
トスノ僕ヲ誘ヒ陷イレントスルヲ止メヨ夫レ人全世界ヲ

得ルモ若シ己レノ魂ヲ沈淪セシメナハ果ソ何ノ益ゾ何ヲ
以テ魂ニ代ヘンヤ爾何ソ躊躇スルノ甚キ速ニ死ヲ賜フ
可シ蓋シ爾ハ己ニ何等ノ一ヲ以テスルモ我等ヲハリスト
スヨリ反離スル能ハザルヲ知ルニ足ラント市尹猶惡々説
諭シ其ノ心ヲ傾ムケントスルモ遂ニ事成ラザルヲ知リ復
タ獄舎ニ下シタリ彼レノ獄舎ヲ出シヨリ其ノ朋友ハ始終
彼ノ爲メニ主神ニ祈禱セリ
次日ニ至リ市尹命シテ獻祭ノ盛典ヲ行ハンガ爲メ民ヲ女
神アルテミダノ殿ニ集ラシメ且ツ致命者等ヲ送致シテ之
ニ告テ曰ク一言猶ホ爾等ニ告ク若シ苦難ノ死ヲ致スヲ欲

セズンハ諸神ヲ拜ス可シト致命者ハ敢テ一言モ答ヘス聲
 ナ高ウソ祈禱シケレハ忽然、大風起リ天地鳴動シテ祠殿仆
 レ其ノ基礎ヲモ崩シ且ツ木偶仆レテ地ニ落チケレハ民恐
 懼戰慄ソ四方ニ散シ實ニ謂フ可カラサル形狀ナリ是ノ如
 キ天變ヲ見ルモ市尹ハ悟ルコトナク酷ク致命者等ヲ苦シメ
 松液ヲ熱シテ其ノ創ニ塗ラシメタリ然レト主ハ彼等ヲ守
 リケレハ松液ハ彼等ヲ害スルコトナク反テ害逐者ヲ傷害セ
 リ是ニ於テ又彼等ヲ獄舎ニ下シタリシガ其ノ夜、主ハ致命
 者等ニ永遠限リナキノ生命ヲ約シテ之ヲ鞏固セリ
 次日ニ至リ市尹ハエウトロビイ及ヒクレオニクテ十字架

ニ釘セントシケルコトヲリスクハ其ノ友ニ別ルニ悲シ
 ミ共ニ刑ヲ受ケンコトヲ請ヒタレモ市尹之ヲ許サズシテ獨
 リ獄舎ニ遣シタリ
 斯クテ聖致命者等ハ刑ヲ受ルガ爲メニ城外ニ出テシカ已
 ニ致命者等ノ爲メニ刑場ニ十字架ヲ準備セシテ見テ大ニ
 欣ヒ高聲主ニ感謝シテ「ハリスティアニソ」等ヲ守護センコトヲ
 祈リ且ツ苦難ヲ耐忍スルノ力ヲ給ハンコトヲ祈タリ既ニシ
 テ致命者等ヲ十字架ニ釘シケレハ皆最後ノ祈禱ヲ献シ安
 然トシテ魂ヲ主ニ復歸セリ是レ實ニ第三世代ノ終リナリ
 斯クテワシリスクハ數日ノ間獄舎ニ在リ遂ニコマン城ノ

傍ニ於テ刎首セラレ六月六日其ノ紀念祭ヲ行ヘ。

○我等ノ父成徳ナルゲラシムノ傳十六日

成徳ナルゲラシムハリキヤノ人ナリ少年ノ比ヨリ夙ニ身
ヲ主ニ獻シ塵世ヲ捨テフイワイタノ曠野ニ隱避シ此ニ在ル
一數年ニシテ後イエルサリム城ニ至リ遂ニイオルタン河
岸ニ移レリ既ニ隱士等大ニ群集シテ遂ニ大ナル修道院ヲ
設立スルニ至レリ

當時ハ是レ第五世代ニシテエフテヒイノ岐教教會ヲ紛乱
シケレハハルキドン聖全地公會ノ定理ニ背キテ岐教ヲ信
スル者多ク岐教忽チ弘衍シタリ一修士ノ奸智ニ長ケタル

フエオドシイモ之ニ眩惑セラレイエルサリムニ至リ小フエオ
ドシイノ后エウドキヤテ岐教ニ轉移シ奸謀ヲ運ラシ竊ニ
神品等ヲ煽動シテイエルサリムノ総主教エウエナリイニ背
カシメ遂ニエウエナリイヲ退黜シテフエオドシイ其ノ後任ト
ナリ奸智ヲ運ラシ偽辨ヲ振フテ一時ゲラシムヲモ瞞着セ
ントセシガゲラシムハ眞理ヲ熱愛シ恒ニ銳意ニ之ヲ探求
スル者ナレハ久シカラスシテ疑念ヲ生シ聖大エウフイミイ
ノ諭訓ヲ請ヒシカゲラシムハ聖者ノ説ヲ聞キテ忽チ豁然
トシテ大ニ悟リ岐教ヲ退ソケ痛ク一時ノ迷ヲ悔ヒ益々熱
切ニ主神ニ奉事セリ

斯クテゲラシムハ己レノ設ケシ修道院ノ爲メ嚴法ヲ制シ
 身自ラ卒先シテ之ヲ行ヒ每周ノ中五日間ハ兄弟各自ノ隱
 房ニ在リテ交際ヲ絶テ各己レノ業ヲ營ミ其ノ食トスル所
 ハ僅少ノ餅パンフィニクフィニクハ棕梠ノ一種ナリ及ヒ素水ノミ
 ニシテ土曜日毎ニ咸ナ聖堂ニ集リ奉神禮ヲ行ヒ聖休機密
 ヲ領シ了リテ偕コ午餉ヲ食シ主日ニモ亦是ノ如クシ午餉
 終レハ各五日間ノ食料ト「フィニク」ノ枝ヲ携ヘテ隱房ニ還リ
 籠ヲ編ミ其ノ價ヲ得テ修道院ノ諸費ニ充テ而シ兄弟等身
 ニ纏フノ敝衣、眠ニ就クノ床、水ヲ盛ルノ石瓶ノ外、何一物モ
 有ルコナシ斯クテ毎歲、聖四旬齋期至レハ成徳ナルゲラシ

ムハ一弟子ヲ從ヘ荒野ニ出テ禁食祈禱スルヲ以テ例トナ
 セリ
 ゲラシム一日荒野ニ在リシ時、天軍顯ハレテ成徳ナルエウ
 フィミイノ魂ヲ携ヘ天ニ昇ル休徵ヲ見シカハ彼レ速ニ起テ
 エウフィミイノ大修道院ニ至リ其ノ葬式ニ與カリタリ
 成徳ナルゲラシムハ年高ウレテ安然トシテ此ノ世ヲ逝リ
 ケレハ諸修士皆大ニ悲歎セリ
 傳ヘ曰フ聖ゲラシムハ野ニ在ルキ己レノ遜謙ヲ以テ野獸
 ヲ馴セリ一日彼レ瘡ヲ受ケタル獅子ニ遇ヒ其ノ瘡ヲ包ミ
 タルニ是ヨリシテ何所ニ在ルモ常ニ聖者ニ追隨シテ家畜

ノ如ク其ノ使役ニ服セシカ聖セラシムカ世ヲ逝ルニ及ン
テ獅子モ悒々トシテ終ニゲラシムノ墓上ニ死セリト云

○聖致命者パウエル及ビイウリアノ傳同日

昔者皇帝アウレリアン、國中ヲ巡行シテプロトレマイダ城ニ
至リシ時少年パウエルナル者アリ素トハリストスヲ信スル
者ナレハ路傍ニ立テ身ニ十字架ヲ畫シ其ノ傍ニアリシ妹
ニ告テ曰ク妹ヨ警醒、戒心セヨ凡ソ「ハリステイア」ナル者
ハ將ニ大ナル誘惑ニ逢ハントス」ト皇帝ハ少年ノ十字架ヲ
畫スルヲ見テ之ヲ捕縛シタリ如何コトナレハ「ハリステイア
」ニ「テ逮捕スル」ト最ト嚴重ノ時ナレハナリ

次日ニ至リ帝ハパウエルヲ法庭ニ召シ訊問シテ曰ク爾何ソ
ゾ我ヲ見敢テ十字架ヲ畫スルヤ豈ニ爾ハ「ハリステイア」ニ
ノ爲メ公布シタル詔ヲ知ラサリシカ「パウエル」曰ク我之ヲ知
レ然レト何等ノ危險ナル事モ誠ナル「ハリステイア」ニ「カ神
ノ子」ハリストスヲ承認スルヲ防止セス」トアウレリアン曰
ク前言ハ是レ戯ルノミ若シ生命ヲ全ウセンコトヲ願カハバ
諸神ニ祭ヲ献ス可シ「パウエル」答テ曰ク我カ奉事スル所ノ神
ノ外、他ノ神アルヲ知ラズ」トアウレリアン之ヲ聞キ從者ニ命
ジ曰ク彼ヲ柱ニ縛シ其ノ謂フ所ノハリストスカ來リテ彼
ヲ援ケ爾等ノ手ヨリ之ヲ脱スルニ至ル迄彼ヲ苦シメヨ」ト

斯クテ從者ハパウエルヲ縛シ酷ク鞭撻シテ之ヲ苦シムルモ
 彼ノ神ヲ頌美シ其ノ助ヲ給ハンコトヲ祈リテ止マサリケリ
 時ニ忽然、少女アリ法庭ニ出テ帝ノ苛酷ナル處治ヲ責メタ
 リ是レ即チパウエルノ妹イウリアニヤナリ處女呼テ曰ク何
 ンカ故ニ我カ兄ノ体ヲ割クヤ豈ニ彼レ一生ニ一タヒタル
 モ王ノ尊嚴ヲ褻瀆セシカ或ハ國人ノ誰人カヲ罵辱セシカ
 臣民皆テ彼ノ仁善ナルカ爲メニ爾ニ哀ヲ請フ帝曰願クハ
 彼ヲ恤憐セヨト
 其ノ時アウレリアンハ處女ノ誰タルヲ知リ温言ヲ諭シ
 ハリストス教ヲ棄テシメントセシモ其ノ心ヲ動かス能ハ

ス處女ハ唯己レノ「ハリスティアコン」タルヲ以テ正教ノ爲ニ
 死センコトヲ願フテ止マサレバアウレリアンハ彼ヲモ亦苦
 シムコトヲ命シタリ
 パウエル及ヒイウリアニヤヲ苦シムルコト甚ク慘酷ヲ極メ鐵
 鈎ヲ以テ其ノ膚肉ヲ搔爬シ次テ其ノ創傷ニ塗ルニ熱松脂
 チ以テスルモ彼等ノ剛毅ナルコト勝ツ能ハズシテ唯其ノ信
 心ヲ鞏固シ其ノ苦痛ニ堪ヘシムル眞神ノ威力ノ彼等ヲ庇
 護スルヲ見ルニ足ルニ至リ而シテ致命者等ハ烈火ノ上ニアル
 鐵盤ノ中ニアリテ聲高ラカニ主ヲ頌美セリ
 アウレリアンハ「ハリスティアコン」ノ剛毅ナルコト驚キ且ツ震

怒シテ曰ク爾ノ主ハリストス果ノ來リテ爾等ヲ助クルカ
我レ之ヲ見ント

イウリアニヤ曰クハリストスハ我等ト偕ニシテ我ヲ助ケ
玉フモ爾ハ彼ヲ見ルニ堪サルユヘ彼ヲ視ル能ハス爾、爾ノ
偽神ヲ棄テ、主ヲ信セヨ彼レ必ス爾ヲ受ケ納レン蓋ハ彼
レ至慈至仁ナレハナリト

王ノ從者ニシテ彼等ヲ苦シメシクワドラト及ピアカキイ
ノ二人ハ「ハリステイアニン」カ剛毅耐忍ナルヲ見テ主ノ力、彼
等ヲ守護スルヲ悟リ神ノ至大ナルヲ識認シ曰クパリエル及
ヒイウリアニヤヲ助クル神ノ外、他ニ神アルナシト王之ヲ

聞キ二人ヲ死刑ニ處スルヲ命シケレハ聖致命者等ハ二人
ニ謂テ曰ク懼ル、勿レ爾等ノ死ハ永遠ニ死スルニ非ズ
限リナキ生命ヲ享ルナリト二人至心誠意ヲ尽シテ神ヲ信
シ祈禱ト偕ニ己レノ魂ヲ神ニ奉シタリ
斯クテ後致命者等ハ獄舎ニ繫カレシカ主ハ彼等ニ獄舎ノ
中ニ顯ハレ其ノ創ヲ癒シテ心志ヲ鞏固セリ
次日ニ至リ帝又彼等ヲ召シハリストスヨリ反離セシメ
トシテ彼等ヲ説諭セシカ遂ニ諭言ノ益ナキヲ見、又彼等ヲ
苦シメタリ然ルニ今モ亦前日ノ如ク主ハ彼等ヲ助ケ其ノ
苦難ノ中ニ鞏固セリ彼等ヲ苦シムル者ノ一人スタラトニ

クト云へル者彼等カ恟ル可キ苦難ノ中ニ在リテ其ノ顔色
 煌々トメ欣喜ノ色アルヲ見、身ニ十字架ヲ畫シ大聲呼テ曰
 ク我モ亦「ハリストティアコン」ナリ其ノ欲スル所ヲ以テ我ニ行
 へヨト遂ニ死刑ニ定メラレ天ヲ仰キ祈禱シテ曰ク主ナル
 眞ノ神ヨ片時タリトモ爾ノ聖名ヲ承認スル我ヲ捨ツル勿
 レト遂ニ刎首セラレタリ
 帝ハ斯ク苦難ヲ以テスルモ「ハリストティアコン」ノ剛毅ナルニ
 勝ツ能ハズ却テ信者ノ數ヲ増加シタリ蓋シ受難者カ苦難
 ノ中ニ在リテ泰然トシテ欣喜スルハ明カニ主ノ全能ニテ
 己レノ奉事者ヲ助クルヲ異教人ニ顯ハセハナリ帝之ヲ見

テ大ニ憤怒シ種々法ヲ尽シテパウエル及ヒイウリアニヤ
 苦シムルモ遂ニ彼等ノ反離セザルヲ知リ之ヲ死刑ニ處シ
 タリ彼等ヲ城外ノ刑場ニ引キ到ル時聖パウエルハ其ノ妹カ
 兄ノ刑セラル、ヲ見テ恐怖ノ心ヲ起サントラ恐レ刎首者
 ニ先ツイウリアニヤヲ刎首セントテ請ヒシニイウリアニ
 ヤハ十字架ヲ畫シ喜テ己レノ魂ヲ神ニ復歸シ其ノ後パウ
 ルモ亦刎首セラレタリアウレリアン其ノ屍ヲ投シテ野獸
 ノ食トナサシメシカ猛キ野獸モ敢テ之ニ觸レサリシカバ
 「ハリストティアコン」等夜竊ニ其ノ遺骨ヲ収メ証テ之ヲ葬リ
 リ是ヲ第三世代ノ事ト爲ス

○十七日

此ノ日イサウリヤノ聖コノンチ紀念セリ彼ハ殆ント全イ
サウリヤ城ヲ教化シテイイススハリストスヲ識認セシメ
主ヨリ大ナル奇蹟ヲ行フ力ヲ玉ハリ正教ノ爲メコ勤勞ス
ルヲ甚タ大ナリシ人ナリト云

○成徳ナル致命者コノン及ビ其ノ子ノ苦難十八日

アウレリアン帝ノ時イコニヤ城コノント云ヘル仁善虔
敬ナル「ハリスティアニン」アリ一子ヲ擧ケ、ルカ其ノ妻ハ産
後病ニカ、リ幾クモナクシテ物故セシケレハコノンハ深
ク哀婦ノ死ヲ悲哀セリ然レト此ノ禍ハ益々コノンチシテ

悲シム者ヲ獨リ慰ムル所ノ主ニ全ク依頼スルノ心ヲ起サ
シメコノンハ祈禱ト讀經トノ外餘念ナク時日ヲ送リシカ
歲月流ル、カ如ク其ノ子已テ七歳ニ至リシカバコノン
之ヲ携ヘテ近隣ノ大修道院ニ至リ讀書習字ト神ノ法律ヲ
學ハシメタリコノンハ財産ニ富ミテ其ノ子ノ幸福ノ爲ニ
ハ之ヲ要スルヲ知ルト雖モ悉ク之ヲ以テ負者ニ頒與シ而
メ其ノ子ニ教フルニ世ノ萬物ニ優リテ主ヲ敬愛シ其ノ誠
命ニ遵守スヘキヲ以テセリ

斯クテ幾クモナクシテコノンハ德行益々高キニヨリ修道
院ノ四面ニ住ム人民ニ恭敬セラレ事アレハ必ス其ノ教ヲ

乞ヒ悲シミアレハ又彼ニ就テ其ノ慰メヲ請ヒシカコノ
 モ亦常ニ力ヲ尽シテ其ノ事ニ與カリ或ハ祈禱シテ彼等ヲ
 助ケシカハ主ハ熱心己レニ務ムル者ノ祈禱ヲ聽キ入レ彼
 レニ奇蹟ヲ行フノ能力ヲ賜ヒシユヘ夥多ノ異教人ハ其ノ
 奇蹟ヲ見其ノ説ヲ聞イテ主ニ歸シタリ
 太守ドミチアソハコノソガ自カラハリストスヲ承認スル
 ノミナラス異教人ニマテ之ヲ播布セントスルヲ知リイコ
 ニヤニ至リ正教ノ弘布ヲ防カントセリドミチアソノイコ
 ニヤニ至ルヤ「ハリステアソ」等ハ其ノ人ト爲リ嚴酷ナル
 ナ知リテ恐懼ノ思ヲナシ遂ニ城ヲ出テ山間曠野ニ隠シル

者多カリシガコノソハ獨リ城中ニ居リ自若トシテ運命
 ナ待チ居タリ
 ドミチアソ、コノソヲ召シハリストスヨリ反離セシメント
 欲シ温言彼ニ云テ曰ク爾ハハリストスノ邪教ニ陥リシノ
 ミナラズ衆人ヲ導イテ其ノ惑ニ誘ハントスト告クル者ア
 リ然レト我レ之ヲ信セズ今爾カ所爲ヲ見テ至ク爾ハ虔敬
 義徳ノ人ナルヲ信ズトコノソ己レノ信ヲ表シテ曰ク我ハ
 ハリストスノ教ヲ守リテ死ニ至ラン我ハ眞理ト生命トハ
 道ナリ我ヲ信スル者ハ死スルモ必ズ生キン（イチアソ
 一章二十五）ト
 云ヒシハリストスヨリ反離セズ我レハ忠信ニ奉事シ

辛苦、艱難ヲ經テ天國ニ至ランコトヲ願ヒリ爾ハ此ノ世ノ子
 ナリ不信、歡樂ノ間ニ世ヲ送リ永遠限リナキ暗國ニ入ラン
 トス」トドミチアン大ニ怒リ聖コノンヲ苦シムルモ彼レ驚
 グ可キ剛毅ヲ以テ諸難ヲ忍ヒ受ケタリドミチアン曰ク我
 カ言ニ從ヒ諸神ヲ拜セヨ然ラハ我レ爾ヲ苦シメズ而シテ
 爾ハ更ニ幸福ナル生命ヲ得ン」トコノン曰ク我ハ肉体ヲ以
 テ世ヲ渡ルヲ欲セズ魂ヲ以テ世ヲ渡リ其ノ魂ノ満足セン
 コトヲ欲スル者也」ト
 ドミチアン苦難ヲ以テコノンノ信仰ヲ破ル能ハザルヲ見
 之ヲ止メテ更ニ説論ヲナシ先ツコノンノ職業及ヒ家族ヲ

問ヒコノンニ一子アルヲ知リ命ノ之ヲ召ヒ來ラシメ而シテ
 ドミチアン父ニ問テ曰ク爾ノ子ノ齡幾何年ツ其ノ信スル
 所ハ何ナルヤ且ツ其ノ名ハ何トカ稱セルヤ答ヘテ曰ク兒
 ハ年十六ニシテ亦コノント呼ビ幸ニ神ノ仁慈ニヨリ先頃、補
 祭ニ擧ケラレタリ我レ曾テ之ニ教誨スルニ主ノ律法ヲ守
 リ世ヲ渡ルヘキヲ以テス彼レ亦我ノ如ク主ハリストスノ
 爲メニ死センコトヲ希フ者也」トドミチアンハ少年コノンニ
 向ヒ温言ニテ諭シテ其ノ信仰ヨリ反離セシメントシテ曰
 ク爾ノ父ハ壯年ノ時種々ノ歡樂ヲ極メ今年已ニ老ヒタ
 リ世ニ於テ何ノ望ミカアラン故ニ死ヲ願フハ敢テ奇トス

足ラズ然レト爾ハ年尙ホ少カシ世ノ諸ヤノ歡樂榮華
 テ受ク可キナリ爾己レノ年少ナルヲ憐レタヨト少年答テ
 曰ク我カ父我ニ教フルコ唯一ナル眞神ヲ承認シ生命ノ有
 ラン限リハ全心誠意之ニ奉事スヘキヲ以テセリ父我レニ
 謂ヘリ神ハ主ヲ愛スル者ニ永生限リナキノ生命ヲ賜ヒ世
 ニ在リテ神ヲ信セザルノ生命ハ生命ニ非スシテ死ナリト
 故ニ我モ亦父ノ踐ム所ノ途ヲ以テ神ニ就カントヲ望ム也
 太守曰ク我レ爾ノ父ヲ苦難ノ死ニ渡サントス豈ニ爾モ亦
 彼レト與ニ死センコトヲ願フヤト少年答ヘテ曰ク我レ我カ
 父ト與ニ死シ而シテ借コ永遠限リナキ生命ニ復活センコト

願フ也ト太守曰ク哀哉シ余ヨ爾眞理ヲ悟リ諸神ヲ拜スル
 ハ誠ニ善ナラスヤト父曰ク彼レ眞理ヲ知レリ蓋シ我ノ如
 シ眞理ニシテ生命ナル者ニ奉事スレハナリト太守彼等ニ
 告ケテ曰ク我カ最後ノ言ヲ聽キ爾等諸神ヲ拜セヨ然ルキ
 ハ我レ爾等ヲ免シ賜フコ尊榮ト大賞トヲ以テセン父コノ
 決然答ヘテ曰ク我等ハハリスティアフニナリハリストス
 ノ名ノ爲メニ死セントスト
 トミチアノ之ヲ聞テ大ニ震怒シ父子二人ヲ最ト慘酷ナル
 刑ニ處セントシ直ニ二人ヲ鐵盤ノ上ニ載セ烈火ヲ以テ其
 ノ下ヲ燒キ且ツ熱松液ヲ釜中ニ盛リテ彼等ヲ投シタリ然

ト聖致命者ハ苦難ノ中ニ在リテ神ヲ讚美シ且ツ己レヲ鞏固セシメテ祈リシカバ主ハ其ノ祈禱ヲ聽入レ神使、彼等ニ顯ハレテ曰ク勇敢ナル軍士安ンセヨ懼ル、コ勿レ蓋シハリストス爾等ト借ニスレハナリ且ツ主ハ爾等ニ勝利ト永遠ノ歡樂ヲ賜ハントス」ト斯ク全能者ナル主ノ力ニテ鞏固セラレシ聖致命者等ハ己レノ苦難ヲ忘レ全心誠意、主ヲ思念セシカ拷治稍久シテ後ドミチアノハ遂ニ致命者等ヲ列首スルコトヲ命シタリ

聖致命者等ハ其ノ宣告ヲ聞キ欣コビ呼テ曰ク主ヨ爾ニ感謝ス蓋シ我等ヲ爾ノ名ノ爲ニ能ク難ヲ受クル者トナセハ

ナリ主ヨ爾ニ祈ル爾ノ教會ニ平安ヲ賜ヘ偶像ノ力ヲ壊リ爾ヲ信スル者ヲ増加シテ之ヲ鞏固シ我等ヲ爾ノ大宅ニ召シ願クハ我等ノ魂ニ安逸ヲ玉ヘヨ」ト言終ルヤ否ヤ彼等ヲ召スノ聲アリテ未ダ白刃ニ觸サルノ先キ安然トシテ永逝セリト云

○アンモリヤニ於テ苦難ヲ受ケシ諸聖致命者ノ紀念同日

同日ニ於テ聖教會ハアンモリヤ城ニ在テ苦難ヲ受ケシ四十二人ノ致命者ヲ紀念セリ此ノ城ハ第九世代ノ初メクレナヤ帝フエオフィルノ時マゴメト人ニ圍マルコト久シカ

カ城中「ハリスティア」等勇敢ニメ善ク防キ若シ内應者
 ナラハ敵必ス兵ヲ退クベキニ「ワディド」シスト稱スル反逆
 者、敵ノ大賞ヲ得ント欲シ守兵少クシテ城壁ノ最モ堅カラ
 サル所ヨリ「マゴメト」人ヲ導ヒキシユヘ城遂ニ陥シイラレ
 タリ「ワディド」シスハ敵ニ内應セシ大逆無道ノ行アルノミナ
 ラズ「ハリストス」教ヲ棄テ回々教ヲ受ケ背教者トナレリ
 當時城中皆兵變ニ罹リ守兵或ハ死シ或ハ擄セラレ其ノ擄
 セラレシ者遂ニ賣ラレテ人ノ奴トナレリ諸將等亦擄セラ
 レ、鐵窓ノ中ニ幽セラル、者四十二人ナリシカ其ノ名知ル
 事得ヘキモノ左ニ「コンスタンティン、アエタイイ、フコオフィル、フエオ

ド、ミリセン、カウルリスト、ワツニア是レナリ其ノ他詳カナラ
 ザリシモ正教會ニ於テハ此ノ「ハリストス」ノ仁善ナル軍士、
 忠信ナル奉事者タリシ勇敢ナル諸將ヲ皆ナ紀念セリ
 「グレチヤ」帝「フエオフィル」ハ彼等ノ爲メニ巨万ノ金ヲ出シ之ヲ
 贖ハントシ種々力ヲ尽セシモ帝ノ焦慮遂ニ空キニ歸シ敵
 人ハ何等ノ請ヲモ聽カズ却テ彼等ヲシテ「ハリストス」教ニ
 背カシメントシテ種々ノ方法ヲ用イ遂ニ黑暗ナル獄舎ニ
 繋キ屢「マゴメト」ノ首長ヨリ使者來リテ「ハリストス」教ヲ棄
 テ回々教ヲ受クヘシト勸メ或ハ威嚇スルニ飢餓火熱ヲ以
 テシ或ハ誘フニ利ヲ以テシタルモ諸將皆ナ彌々堅クハリ

ストス教ヲ承認シテ聽カザレハ益々嚴ナル所置ヲ受ケ七年ノ間鎖窓ノ中ニ在リテ最ト慘酷ナル苦難ヲ受ルモ精神益々堅キヲ加ヘ斷間ナク祈禱シテ勇氣ト慰藉トヲ得、而シテ彼等ニ苦難ヲ下シ先キノ惡ヲ犯セシ生活ヨリ避クルノ方法ヲ示シ玉フノ主ニ感謝シ大ニ欣ヒ從容トシテ主ニ体合セシカ爲ソ死ヲ待チタリシガ遂ニ尽ク刎首セラレタリ

マゴメトノ將帥ハ國ヲ賣リタルワディドジスヲモ刑セシメテ曰ク蓋シ國ヲ賣リ己レノ神ヲモ棄ル者ニハ信ヲ置ク能ハス」ト

○ヘルソンニ於テ殺害セラレシ神品致命者等ノ紀

念十九日

第十世代ノ終リノ比露國ノ聖ウラディミル侯初テ正教ヲ信シ遂ニ國中ニ播布シタリ是レヨリ先キ現今露國ノ領地タリシ諸郡ニ神ノ聖言漸々播布セリ初メ正教ハ往古羅馬ノ屬轄ナルタウリイノヘルソント稱ヘタルタウリイ半島即チクレムニ入りタリ傳ヘ云フ聖使徒アンドレイ是ノ地ニ傳道シ次テ露國ノ南部ニ入り方今キエフ城タリシ丘上ニ十字架ヲ立テタリ」ト

羅馬ノ諸帝ハ酷ク「ハリスティアニン」ヲ窘逐シテ識ラス知ラスハリストス教ノタウリイ半島ニ弘布スルヲ助ケタリ

諸帝ハ此ノ地ニ犯罪者ヲ配流セシカ當時ハリストスチ信
 スル者ヲ以テ大罪ヲ犯セシ者トナシケレハ「ハリステイア」
 「等」ハ皆之カ爲メニ流サレタリ彼ノトラヤン帝ノ時、聖ク
 リメントノ如キ即チ是ナリ
 斯ク配流セラレタル人々ハ傳道ト徳義ノ行爲トヲ以テ衆
 多ノ異教人ヲ主ニ轉移シ又屢々致命スル者アリテ新信者
 ノ信仰ヲ鞏固セリ是ノ如ク主ハ万事ニ於テ吾人ノ利益ト
 幸福トニ傾向セシメ又屢々主ノ聖旨ニ戻ル者ヲシテ識ラ
 ス知ラス万善ナル聖慮ノ機關トナラシメ主ヘリ
 前段ニ述ヘシカ如ク配流者等ハ主ノ道ヲ傳ヘテ多クノ人

々チ眞神ニ轉移セシメシモクウリイ半島ノ住民ハ尙ホ異
 教ノ黑暗ナル迷夢ノ中ニ生息スル者多ク且ツ此ノ地元ト
 多クノイウデキ人アリシカバ力ヲ尽シテハリストス教ノ
 弘布ヲ防キ異教人ト共ニ「ハリステイア」チ迫害窘逐セシ
 ヌヘ「ハリステイア」等ハ屢々主教若シハ司祭ヲ失ヒ遠
 ニ諸敵ノ殘酷無情ナル迫害ヲ避ケンガ爲メ時アリテハ祈
 禱ノ爲メ密所ニ相ヒ集マリ時アリテハ其ノ數ヲ減少セリ
 然レトハリストス教ノ初代ニ於テハ諸信徒ノ愛情熱切ニ
 シテ堅ク主ノ誠命ヲ守リ隣人ヲ助ケテ他ヲ教化シ眞神ヲ
 識認セシムルガ爲メニハ如何ナル窘逐ヲモ懼レズ死モ亦

敢テ辭セザリキ
 斯クテ第三世代ノ比ディオクリティアン帝ガ酷ク「ハリスティア」ニ
 「ナ」逮捕セシ時イエルサリムノ総主教エルモンハ數名ノ
 主教ヲ四方ニ遣ハシテ聖福音ヲ傳ヘシメタリ其ノ中エフ
 レム及ヒワシリイノ二人ハ「ハルソン」ニ至リシガ暫クシノ
 間偕ニ半島ノ首府ヘ「ルソン」即チ「コルス」ニ駐留シ正教ヲ
 説キテ窘逐セラレ、「ハリスティア」ノ心ヲ鞏メシメ異教
 人ニ偶像ヲ拜スルノ愚カナルヲ論シ眞神ニ轉移スベキ
 ヲ教ヘダリシカ後ワシリイチヘ「ルソン」ニ止メエフレム獨
 リ深ク内地ニ入りテ傳道シ遂ニ「ドナ」イ河ノ邊ニ至リ神

ノ聖言ヲ傳ヘケレハ信シテ領洗スル者多カリシモ數多ノ
 住民ハ聖ナル傳道者ヲ惡ミシユヘ聖エフレムハ具サニ窘
 逐誹謗ヲ受ケ遂ニ西長ノ命ニテ刎首セラレタリ實ニ三月
 十九日ナリ

此ノ時ニ當テワシリイハ尙ホヘ「ルソン」ニ在テ神ノ聖言ヲ
 傳ヘケレハ府民信シテ主ニ歸スル者多カリシモ信セザル
 ノ府民ハ大ニ怒リテ蜂起シ主教ヲ捕ヘテ痛ク鞭撻シ遂ニ
 城中ヨリ放逐セリ斯クテワシリイハ去リテ城外ノ一山ニ
 登リ洞窟ヲ探リテ之ニ入り悲歎シツ、熱切ニ眞教ノ光ニ
 テ異教人等ヲ教化シ玉ハン「ナ」神ニ祈リタリ

傳へ云フ主教ワシリイカ去リシ後數月ヲ過キヘルソニ
 一名族アリ愛子ヲ失ヒ大ニ之ヲ悲歎シ彼ヲ葬リシ後モ日
 夜其ノ墓側ニ至リ涕泣シテ止マサリシカー一夜父母其ノ墓
 側ニアル時死セシ子夢ニ顯ハレテ曰ク何ソソ我カ死セシ
 下チ悲シミ哭スルヤ何ソソ我カ冥福ヲ諸神ヨ祈ルヤ諸神
 ハ我ヲシテ死ヨリ甦ヘラシムル能ハズ何トナレハ諸神ハ
 空シキ者ナレバ也若シ我ノ甦ラソフチ望マバ爾カ先キニ
 辱チ與ヘテ遂ニ窘逐セシ外國人ニ就キ其ノ神ヨ我ノ下チ
 祈禱スルヲ請ヒ且ツ爾自ラ彼レノ承認スル所ノ神ヲ信ズ
 可シ蓋シ彼ノ承認スル所ノ神ハ生死者ノ上ニ權ヲ有スル

ノ眞ノ神ナレハナリト醒メテ後二親互ニ夢ニ見ル所ヲ告
 ケ大ニ欣ヒ親戚家族等ト俱ニ主教ヲ尋ネシカ遂ニ山中ノ
 洞窟中ニ在ルニ遇ヒ其ノ足下ニ伏拜シテ死シタル己レノ
 子ヲ復活セシメソフチ請ヒタリシニ主教答テ曰ク我ハ罪
 人ナリ如何ソシテ死者ヲ復活セシムルヲ得ンヤ之ヲ能
 シスルハ獨リ神ノミナリ爾神ヲ信シテ之ヨ祈ル可シト父
 母曰ク若シ我等ノ子死ヨリ復活セハ爾命スル所ノ下ハ必
 ズ悉ク之ヲ行ハソト
 ワシリイハ二人ノ言ヲ聞キ共ニ其ノ子ノ墓ニ至リ墓門ノ
 石ヲ開カシメ進テ死者ヲ葬リシ洞穴ニ入り棺上ニ祈禱シ

且ツ水ヲ成聖シテ聖洗機密ノ時ノ如ク聖三者ノ聖名ヲ呼
 ヒテ三タヒ死者ニ注キケレハ死者忽然甦生シテ神ヲ頌美
 セリ此ニ於テ見ル者皆主教ノ足下ニ伏拜シテ在天ノ神ヲ
 讚揚シ且ツ敬テ聖主教ヲ城内ニ導ヒキ來レリ是ニ因リ住
 民信シテ聖洗ヲ領スル者最ト多カリシ
 是ヨリシテ後ハリス教忽チ都府及ヒ其ノ近傍凡ソ到
 ル所ニ蔓延セントセシカハ異教人及ヒイウデヤ人等ハ會
 テ嫌忌セシ宗教ノ四方ニ起ルヲ見大ニ怒リ遂ニ聖主教ヲ
 殺サントシ一夜其ノ家ヲ襲ヒ主教ヲ捕縛シ市街ヲ引キ廻
 シ遂ニ石擊鞭撻シテ死ニ至ラシメタリ而シテ其ノ屍ヲ野獸

ニ食ラハシメントシテ野外ニ投セシカ野獸敢テ之ニ觸
 ハナク且ツ異光アリ夜中煌々トシテ其ノ屍ノ上ニ輝ケ
 リ「ハリスティアニ」等夜竊ニ之ヲ収テ埋葬シタリト云
 其ノ後幾クモナクシテ聖ワシリイノ弟子ナル一人ハゲル
 レスポント地方ニ至リテ先ニワシリイ、エフレムト與ニイ
 エルサリムヲ出テタル三人ノ主教ニ遇ヒ聖ナル傳道者ノ
 辛苦艱難ヲ嘗メ遂ニ死ニ至リシ狀ヲ具サニ告ケレハ主教
 等之ヲ聞キ己レノ同僚ナルヲシリイヲシテ能ク主ノ聖名
 ノ爲メニ難ヲ受ケ死ヲ致スニ堪フル者トナシ玉ヒシ神ヲ
 讚揚シ且ツ身ノ危キヲ顧ミス心ヲ決シテ異教人ヲ教化セ

シ善事ヲ續カンカ爲メヘルソンニ至リタリ蓋ハ此ノ聖ナル事業ハ彼等ノ爲メニ生命ヨリモ尙ホ重キカ故ナリ
 斯クテエウゲニイ、エルビデイ及ヒアガフォドノ三主教ハ直ニヘルソンニ至リケレハ「ハリスティアニン」等皆欣ヒテ彼等ヲ受ケタルモエウレイ人及ヒ異教人等蜂起シテ遂ニ三主教ヲ殺害セリ是レ亦實ニ三月十九日ノ事ナリ
 茲ニ數年ノ後コンスタンティン帝ノ時イエルサリムノ総主教更ニエウレイト云ヘル主教ヲヘルソンニ派遣セリエウレイ人及ヒ異教人等彼ヲ害セント謀ルモ皇帝ハ「ハリスティアニン」ヲ保護シ彼等ノ惡謀ヲ遏ウセシメキリシ故エウレイ

イ平安ニシテ己レノ牧衆ヲ治理シ神ノ聖言ヲ傳ヘ己レノ身ヲ以テ「ハリスティアニン」ノ諸徳ノ規範トナセリ斯クテコンスタンティノポリニ至リ帝ノ己レヲ保護セシ厚意ヲ謝シ將ニ還ラントスル途中、病發リテ眠リケレバ父ノ如ク彼ヲ愛シタルヘルソンノ「ハリスティアニン」等ハ大ニ悲慟セリ
 主教エウレイカ死セシ後、主教カピトンヘルソンニ遣ハサレタリ傳ヘ云フヘルソン城ノ異教人ハ其ノ傳フル所ノ神ヲ信センカ爲メニ休徵ヲ顯サントナシ請ヒケレハ主教ハ厚ク信シテ主ノ恩佑ヲ祈願シ忽チ身ヲ烈火ノ中ニ投シ立テ祈禱シテ身ヲ害フコトナクシテ火焰ノ中ヨリ靜ニ出テゲレ

ハ群衆、之ヲ見テ大ニ驚キ呼テ曰ク神ハ唯一ナリ「ハリス、タイ
 アノン」ノ神ハ至大至強ナリ彼ハ己レノ僕ヲ守護シ火中ニ
 在リテ傷フコトナシト是ニ於テ群衆聖洗ヲ領ケ而シハリス
 トス教ハ全クウリイ半島ニ弘延セリ斯ク聖カピトンカ行
 ヒシ奇蹟ハ當時ニケヤノ公會ニ臨御セシコンスタンティン
 帝ニ奏上セラレタリ其ノ後聖カピトンハ教年ノ間ヘルソ
 ンニ在リテ主教タリシカ或ル日コンスタンティノールニ到
 ルノ途次、海上、颶風ニ逢ヒ船破レ橋折レ激波ノ爲ニ遂ニテ
 テプル河口ニ漂流セシガ河岸ノ蠻民ハ船中ニ在ル者ヲ咸
 シ殺害シ且ツ主教ヲ海ニ投シテ沈没セシメタリ正教會ニ

於テハ三月十九日ニ於テタウリイ半島ナルヘルソンニ傳
 道セシ最初ノ主教聖エフレム、ワシリイ、エウゲニイ、エルピ
 デイ、アガフォドル、エウリエイ及ヒカピトンノ七主教ノ紀念祭
 ナ執行セリ

○我等ノ成徳ナル父ニコミデイヤノ主教表信者フエオ
 フイラクトノ紀念二十日

聖フエオフイラクトハ斥像異端ノ盛ナリシ時、黒海ノ濱ナル修
 道院ニ在リテ數年ノ間、道ヲ修メタリシカ女皇イリナノ時、
 第七聖圣地公會ニ於テ斥像ノ異端闢除セラル、後總主教
 聖タラシイハフエオフイラクトノ徳義ナルヲ知リ彼ヲ勸メテ

ニコミディヤノ主教ノ神職ニ就カシメタリフエオフラント此ノ職ニ在リテ貧者ヲ憐レミ病者ヲ看護シ或ハ旅館、病室、貧院等ヲ建築シ疫病流行シテ都府ニ蔓延セシ時ノ如キハ主教自ラ城中ヲ巡リ親シク疫者ノ身ヲ洗ヒ善ク人々ヲ待遇シテハリストスノ忠直ナル僕ノ分ヲ尽シタリ公會ノ後一タビ平穩ナリシ斥像異端ハアルミヤノ人レオ帝ノ時ニ至リ帝之ヲ保護セシカハ餘焰復タ起リシガコンスタンティノーポリノニキボル、キシクノエミリアン、サルヂヤノエウフイ、フエサロニカノイオシフ及ヒフエオ、フ、ラクト等ノ辱トキ主教等ハ帝ヲ諫メ岐教ヲ捨ツルヲ勸説セシモ採用セラレズシ

テ皆配流セラレタリ、カクテ聖フエオフラントハ恠々トシテ三十年ノ星霜ヲ配所ノ中ニ送り具サニ貧困憂苦ヲ嘗メ年老テ後安然トシテ世ヲ逝リタリ

○此ノ日又背教者ユリアン帝ノ時、難ヲ受ケ致命セシアンライオヒヤノ司祭、聖フエオドリトヲ紀念セリ

○セウステイヤ湖ニ於テ難ヲ受ケタル聖致命者四十人ノ苦難二十一日

第四世代ノ頃リキコイ帝詔ヲ出シテ嚴ニハリストス教ヲ禁メタリ時ニアルメニヤ州ノ都府セウステイヤニ屯ロセシ兵士ニシテハリストス教ヲ承認セシ者四十人アリ彼等、常

能ク其ノ職ヲ尽シ戰場ニ臨ミテハ果敢勇猛ニシテ隊中
 ニ比ナカリシカハ衆ノ敬愛スル所トナレリ斯クテハリス
 テ「アノン」ヲシテ祭ヲ異教ノ諸神ニ獻セシム可キノ詔セリ
 ス「テイヤ」城ニ達シケレハ將軍「アグリコライ」彼ノ「ハリスト」スチ
 承認セシ兵士等ヲ召ヒ出シ王ノ詔ヲ傳ヘシニ彼等心ヲ同
 ウシテ諸神ヲ拜スルヲ肯ハザリシ是ニ於テ「アグリコライ」
 ハ彼等若シ己レノ頑心ヲ固執シテ王ノ命ニ從ハザレハ之
 ヲ死刑ニ處セント欲シ或ハ誘フニ富貴榮達ヲ以テ「ハリス」
 ト「スヨリ」反離セシメント試ミタリ然レト此ノ諭言モ呵責
 モ皆益ナケレハ兵士等ハ次日ニ至ルマテ獻舍ニ繫カレタ

リ
 斯クテ「アグリコライ」ハ兵士等若シ熟慮セハ必ス自ラ悟リ
 テ其ノ志ヲ變スルナラント思ヒシニ彼レ等ハ神ニ祈リテ
 特ニ力ヲ得且ツ休徵顯ハレテ主ノ力之ヲ助ケ之ニ救贖ヲ
 賜フトノ約ヲ受ケシカハ益其ノ信仰ヲ堅メタリ
 次日ニ至リ兵士等將軍ノ前ニ出テ眞神ヨリ反離センヨリ
 ハ寧ロ速ニ死ヲ賜フヘシト請ヒタリシカバ「アグリコライ」
 ハ彼等ヲ傾ケ陷レンカ爲メ或ハ恐嚇スルニ死ヲ以テシ或
 ハ温顔和言ヲ以テ諭シテ曰ク爾等ハ勇敢ニシテ能ク軍事
 ニ熟シ容貌雄威ニシテ我カ王ノ軍中ニ比類ナシ是レ我が

爾等ヲ愛スル_ト他人兵士ニ優ル所以ナリ爾等我カ愛ヲ以
 テ厭惡ニ易フル_ト勿レ_ト一兵士進ミテ曰ク我等ハ神ノ愛
 憐ヲ受ン_トヲ願フ也_ト將軍ハ猶モ彼等ヲ説諭スルニ遂ニ
 其ノ撓マザルヲ見テ再々ヒ獄舍ニ繫キタリ蓋シアグリコ
 ライ未タ王ヨリ彼等ヲ處分スルノ全權ヲ得ザレハナリ兵
 士等獄舍ノ中ニ在リテ恒ニ祈禱ヲ爲シ或ハ來世ノ_トヲ談
 シ或ハ相勵マシ或ハ互ニ慰サメ以テ主ノ教ヲ堅ク守リ懼
 ル_トナク處分ノ如何ヲ待_テ居タリ兵士ノ中カンデイト、キ
 リオン及ヒドムンノ三人ハ其ノ德義ナルト剛毅ナルヲ以
 テ特ニ衆人ニ尊敬セラレ常ニ諸人ヲ獎勵シタリキリオン

兄弟等ニ謂テ曰ク我等片時限リアル此ノ世ノ生命ヲ棄ツ
 ルハ必ス神ノ意ニ適_フナラン相與ニ難ヲ受ケ永遠無限ノ
 世ニ在ルモ亦皆借ニセン我等同心一致シテ懼ル_トナク
 此ノ世ノ王ニ仕ヘン如ク在天我等ノ主ノ勇敢ナル軍士ト
 ナラント

斯クテ一週間ヲ過キ大臣リシイハ王ノ命ヲ受ケセワスタ
 ヤニ至リ兵士等ヲ召ヒテ法庭ヲ開キタリ時ニキリオン兄
 弟ニ向ヒ謂テ曰ク兄弟ヨ懼ル_ト勿レ我等曾テ戰場ニ在
 リテ主ヲ呼ビシ時主ハ我等ヲ救援セシニアラズヤ又其ノ
 聖名ヲ以テ敵ニ勝ナタルニアラズヤ回顧スレハ我カ軍、會

テ敗走セシ時我等獨り止マリ奮戦ノ神ニ祈禱シ神ノ助ヲ
 得テ遂ニ強敵ヲ破リ偉勳ヲ奏シタリキ今ヤ又主ニ祈リ艱
 難ヲ懼レズ我等曾テ戰場ニ臨ミシ前ニ當テ恒ニ詠セシ所
 ノ神ヨ爾ノ名ヲ以テ我ヲ救ヒ爾ノ力ヲ以テ爾將ニ鞠セン
 ト云云ノ詩ヲ詠セント云ヒケレハ衆皆聲高クカニ詩ヲ
 詠シツ、法庭ニ護送セラレタリ是ノ如ク眞誠ノ「ハリステイ
 アニン」ナル聖致命者等ハ常ニ神ノ名ノ爲メニ難ヲ受クル
 事辞セズシテ唯主ニ此ノ苦難ヲ受クルニ堪フル力ヲ玉ハ
 ン「ヲ祈リ而シテ是ノ如キ祈禱ハ主ニ聽カレ主ハ人々ノ
 爲メ最モ苦難ナル誘惑ノ時ニ於テ之ヲ助ケテ魂ノ撓マザ

ル剛毅ト熱信トヲ賜ヘド

斯クテ兵士等法庭ニ至リシ時リシイハアグリコライチ願
 ミテ曰ク思フニ此ノ人々ハ必ズ身ノ榮達ヲ望ミシナラン
 ト次テ兵士等ニ向テ曰シ爾等自ラ己レノ運命ヲ擇ヘ蓋シ
 祭ヲ諸神ニ獻セハ進級シテ大俸ヲ受ケン若シ聽カスシテ
 己レノ迷ヲ固執セハ軍務ヲ免メ苦難ニ處セント「トカンドイト
 答テ曰ク吾等ハ軍職ハ勿論生命ヲモ惜マザルナリ我等ノ
 主ハリステイノ聖名ハ我等ノ甚ク貴重尊敬スル所ニシテ
 天上地下之ニ比較スヘキ者ナシ」トリシイ大ニ怒リ兵士等
 ヲ石撃セシメタリシガ主ノ異能ニヨリテ石塊反テリシイ

及ヒ其ノ殘酷ナル僕人ヲ傷テ聖致命者ハ少シモ害ヲ受ケ
スシテ益々固ク主ヲ信認セリリシイ再ビ彼等ヲ獄舎ニ繋
キタリシカ通夜、祈禱、謳歌シ且ツ天ヨリ我ヲ信スル者ハ死
スト雖モ生命ヲ得ン奮ヒヨヤ片時ノ苦ミヲ懼ル、「勿レ」
ト謂フノ聲ヲ聞キタリ

次日ニ至リリシイ兵士等ヲ引キ出シ或ハ論シ或ハ嚇セシ
カ兵士等答テ曰ク唯爾ノ意ノ如ク之ヲ行フ可シ我等ハ「ハ
ステイアコン」ナレハ決シテ偶像ニ祭ヲ献スルヲ爲サ、ルナ
リ」ト

頃ハ寒氣ノ候ナレハ朔風凜々トシテ躰ヲ裂クノ時ナルカ

リシイハ夜、聖致命者等ヲ城外ノ湖水ニ浸シ兵士及ヒ獄卒
ヲシテ之ヲ守ラシメ且ツ命ヲテ湖濱ニ湯ヲ沸カサシメ若
シ眞神ニ背離シ諸神ニ祭ヲ献スル者アラハ寒氣ヲ避クル
ニ便ナラシメタリ蓋シリシイハ夜中、殊ニ寒氣烈クシクシ
テ湖水皆氷結スレハ致命者等カ此ノ最ト永キ苦難ヲ忍フ
能ハスト思ヘハナリ斯クテ致命者ノ中一人此ノ苦難ヲ耐
ヘ忍フヲ能ハスシテ湖水ヨリ上リ湯ニ浴セントシケレハ
恰モ死スルカ如ク忽チ倒レテ死シタリ其ノ他ノ致命者等
ハ儼然トシテ此ノ苦難ヲ忍ヒ受ケ祈禱謳歌シテ止マサリ
シカ夜中、忽チ異光アリ諸致命者ヲ照セリ守衛ノ兵士皆

眠リテ獄卒獨リ之ヲ守リシカ異光アリテ諸致命者ヲ照シ
 榮冠其ノ首ニ降タルヲ見、豁然トシテ自ラ悟リ衣ヲ脱キ湖
 水ニ入り諸致命者ノ傍ニ立テ呼テ曰ク我モ亦ハリステイア
 ニンナリ神ヨ我レ爾ヲ信ス願クハ爾我ヲ受ケテ爾ノ僕ノ
 數ニ加ヘヨ且ツ我ヲシテ爾ノ聖名ノ爲メニ能ク苦難ヲ受
 シル者トナルヲ得セシメ玉ヘト斯ク再タヒハリステイア教
 ノ表信者ナル四十人ノ數ヲ全ウセリ
 次日ニ至リリシイハ兵士等カ猶ホ生存スト聞キ又酷ク之
 ヲ拷治シ遂ニ死刑ニ處シ獄卒モ亦彼等ト偕ニ刑セラレタ
 リ一致命者ノ母其ノ子ノ拷治セラレ、時法庭ニ出テ其ノ

子ノ撓マス儼然トシテイイススハリステイアノ爲メニ死ヲ
 致サンコトヲ主ニ祈リタリ致命者等皆欣然トシテ刑場ニ至
 リ歌フテ曰ク我儕ハ靈ハ脱スルヲ得ルハ鳥ノ捕鳥者ハ羅
 ヲ脱スルカ如シ羅裂テ我儕ハ脱スルヲ得ン我儕ハ扶助ハ
 天地ヲ創造セシ主ノ名ニ在リ(詩篇一百二十四、七、八)ト遂ニ刎首セラ
 レタリ刑終リシ後リシイハハリステイアニンカ聖致命者等
 ノ遺屍ヲ埋葬セザルカ爲メ遺屍ヲ燒カシメタリシカ兵士
 等致命者ノ遺骨ヲ燒クモ少シモ害フコトナカリシ故、遂ニ河
 中ニ沈メタリ是レ降生三百二十年頃ノ事ナリトゾ
 茲ニ三日ノ後、聖致命者等ハセワステイヤノ主教ベートルニ顯

ハレ其ノ遺骨ヲ収メゾトテ請ヒシカハ主教ベートルハ兼
 「ハリスティアオン」ト僭ニ夜竊ニ河ニ至リシコ異光アリテ致
 命者等ノ遺骨ヲ照ラセシカハ之ヲ證トシテ悉ク遺骨ヲ収
 メ還リタリト云
 彼等カ致命セシ後、幾ハツモナクシテ「ハリスティアオン」ノ欣
 羨嘆美スル所トナレリエフレムシリシカ大ワシリイテケ
 サリヤニ訪ヒシ時セツステイヤノ聖致命者等ノ偉勳ヲ語リ
 大ニ頌讚セシト云フ其ノ後降生四百三十六年ノ頃、皇后ア
 リヘリヤ聖致命者等ノ遺骨ヲ棺ニ収メ寶石珍珠ヲ以テ之
 ヲ飾リタリ聖教會ニ於テハ此ノ日、齋ヲ守リテ大ニ尊ヘリ

○ニコミディアノ聖致命者コドラトノ苦難セニ日

第三世代ノ半ノ頃デキイ帝ノ時、夥多ノ「ハリスティアオン」
 ニニコミディア城ニ護送シテ獄舎ニ繋キ之ヲ裁判スル爲ノ帝
 ノ遣ハシタル法官ノ至ルヲ待ナタリ是ニ於テニコミディア
 ノ諸「ハリスティアオン」等ハ或ハ大ニ恐怖ノ念ヲ懷キテ山野
 ニ隱匿スルアリ或ハ泰然トシテ致命スルノ日ヲ待ツ者モ
 亦多カリキ其ノ死ヲ待ツ者ノ中、富貴ノ家ニ生レ大ニ衆人
 ニ尊敬セララル、少年コドラトト呼ヘル者アリ深ク同信者
 ノ窘迫ヲ憂ヘ死ヲ願ミズシテ種々ノ方法ヲ設ケ縁故ヲ求
 メテ彼等ヲ救助セント欲シ金ヲ獄舎ノ番卒ニ與ヘ還ニ獄

舍ニ入ルヲ得テ囚人ヲ扶助慰藉シ且ツ説キ諭シテ固ク
 信仰ヲ守リ死ヲ懼レサラシメタリ
 數日ヲ過キ帝ノ遣ハシタル裁判長ペレンニイナル者到リ
 公判ヲ開キ諸々ノ囚者ヲ法庭ニ引キ出シタリシカ城民多
 シ集マリコドラトモ亦來リテ衆ハリスティアニノ中或ハ
 恐怖ノ色ヲ顯ハシタル者アルヲ見其ノ信仰ヲ棄テノチ
 恐レ居タリシカ裁判長ハ囚者ニ向ヒ各々族籍姓名ヲ具申
 セヨト云ヒケレハコドラト忽チ進ミ出テ囚者ノ中ニ加ハ
 リ衆ニ代リ侃々トシテ答テ曰ク我等ノ名ハハリスティアニ
 シナリ爵位ハ即チハリストスノ僕ニシテ生國ハ天ナリ彼

所ニ主ハ主ヲ呼フ者ヲ居ラシムト聲色俱ニ勵シアレシコイ
 其ノ答ノ活潑ナルニ驚愕シ從者ニ命ジテ曰ク此ノ狂者ヲ
 ノ近ク我カ前ニ進マシメヨトコドラト命ヲ傳フルヲ待タ
 スシテ群衆ヲ別ケ法官ノ前ニ進ミ出テタリシガ人々之ヲ
 見テコドラトヲ愛スルカ故皆怖ヲ懷キテ目ヲコドラトニ
 注キタリ時ニコドラト身ニ十字架ヲ畫シ法官ニ謂テ曰ク
 我レ自ラ我カ衆兄弟ノ總代トシテ爾ニ告ケンカ爲メニ此
 ニ來レリ爾ハ爾ノ此コニ來リシ職分ヲ爲シテ我等カハリ
 ストスノ勇敢ナル軍士タルヲ信ル可シト法官アレシニイ
 曰ク先ツ爾ノ名ヲ告ケヨ曰ク我レ已テニ我等ノハリスティア

アニソナルヲ告ケタリ是レ我等ノ姓名ト爵位ナリ法官曰
 シ我カ友ヨ我カ言ヲ聽キ祭リヲ諸神ニ獻スベシコドラト
 之ニ答ヘテ異教ノ諸神ヲ誹謗シ眞神ヲ頌讚シケレハ法官
 酷ク彼ヲ鞭撻シテ之ヲ苦シムルヲ命シタリ
 僕、其ノ命ヲ行フ法官ハ傍人ニ致命者ノ名ヲ聞キ其ノニコ
 ミヂヤ城ノ名族タルヲ知リ大ニ懼レテ直ニ彼ヲ苦シム
 ルヲ止メ己レノ前ニ召ヒテ曰ク爾、其ノ名ヲ我ニ隠ソ何
 ナ爲サントスルヤ爾自ラ爾ノ名族ヲ辱カシメ而ソ己レノ
 貴紳ナルト家ノ名族ナルヲ忘レ何ノ故コハリストスノ空
 シキ教ニ就キシヤトコドラト唱詩者ノ言ヲ以テ答テ曰ク

我レ我カ神ノ室門ニ立ツハ惡者ノ幕ニ居ルニ愈ルト
 ペレンニイ或ハ脅嚇シ或ハ説諭シテハリストスヨリ反離
 セシメント焦慮セシモコドラトハ儼然トシテ其ノ信仰ヲ
 棄テザレハ法官又之ヲ苦シメタルモコドラトハ其ノ苦ミ
 ナ懼レズノ呼テ曰ク主ヨ爾ヲ讃揚ス爾我レ不當ノ罪人ナ
 シテ能ク爾ノ聖ナル名ノ爲メニ苦難ヲ受クルニ堪ヘシメ
 我ヲ爾ノ至愛ナル僕ノ數ニ加ヘシトスルヲ爾ニ感謝ス
 又爾ニ祈ル我ヲシテ爾ノ聖神ヲ滿被シ我ヲ鞏固シ爾ノ睿
 智ヲ以テ我カ智ヲ開キ惡者ヲシテ我ニ勝タシメズ能ク我
 カ偉功ヲ成就セシメヨト數時ノ間聖コドラト酷ク苦ヲ受

ケタルモ勇氣益々壯ニシテ法官ノ説諭ニ答フルニ只イイ
 ススハリストスチ承認スルヲ以テセシカハ日暮ル、ニ及
 ヒ遂ニ他ノ囚者ト偕ニ獄舎ニ入ラレ鐵鎖ヲ以テ繫レタリ
 ペレンニイハ諸州ノ邑城ヲ巡廻シテ「ハリステイアニシテ糾
 問拷治スベキ任ヲ受ケタル者ナレハ數日ヲ經テニコミディ
 ヤチ發シニケヤニ行ントスル時コドラト及ヒ其ノ親友チ
 護送ヒシメテニケヤニ到着シ異教ノ神殿ニ於テ最ト盛ナ
 ル祭典ヲ設ケ「ハリステイアニシテ」等チ此コニ至ラシメタリ
 斯クテ法官ペレンニイ、コドラトニ謂テ曰ク爾諸神ニ獻祭
 セヨ致命者曰ク我ハハリストスノ僕ナリ當ニハリストス

ノ爲メニ己レチ犧牲トナシテ獻祭スベキモ爾ノ諸神ハ固
 ヨリ獻祭スルニ足ラス」ト法官曰ク爾、帝ノ詔チ輕ズルカ曰
 ク我レ帝チ尊敬シ常ニ帝ノ眞理チ悟ランコトヲ祈レリ」曰ク
 爾若シ帝ノ爲メニ祈リナハ必ズ其ノ命ニモ從フ可シ且ツ
 爾等ノ教ハケサリノ物チ以テケサリニ歸シ神ノ物チ以テ
 神ニ歸セヨト謂フニアラズヤ馬太二十二章二一節聖致命者、答テ曰
 ク爾ノ言眞ニ然リ故ニ我レ帝ニ背カスシテ之ニ仕ヘ之ニ
 税ヲ納ム然レモ在天ノ神ニ奉事スルハ我ノ本分ナリ故ニ
 帝若シ我レニ祭ヲ諸神ニ獻セヨ若シ命ニ從ハスンハ死刑
 ニ處セントノ事ナラハ我レ必ズ後者チ擇ヒ我カ神ノ名ノ

爲メニ死セシトテ願フ可シト法官曰ク多クノ「ハリステイア
 ニシ」等皆諸神ニ献祭スルヲ肯カヘリ爾獨リ然ラズシテ此
 ノ人々ニ優レルト思ヘルカ「コドラト容ヲ正ウシテ曰ク我
 レ我カ信仰ヲ守ラハ神ニ背キシ人々ニ較レハ無論幸福ナ
 リ今爾ノ謂フ所ノ者、何所ニ在ルヤ」
 法官更ニコドラトヲ苦シムルヲ命シ且ツ人ヲ遣ハシテ反
 離セシ「ハリステイア」ニ等ヲ召ハシメタリ實ニ夥多ノ「ハリ
 ステイア」ニ「ハリステイア」ニ等ヲ召ハシメタリ實ニ夥多ノ「ハリ
 シ」或ハ金ヲ賄フテ諸神ニ献祭セシトノ証書ヲ神官ニ請ヒ
 求ムル者有リテ其ノ後、政府ハ之ヲ問ハザルモ其ノ良心自

ラ安ズル能ハス身ハ無事平安ナルモ致命者ノ囚セラレ且
 ツ最ト恐ルヘキ苦難ノ中ニ在リテ有ツ所ノ如キ心中ノ安
 和平康ヲ得ル能ハザリシ
 反離セシ「ハリステイア」ニ等ハ「コドラト」ノ苦ミヲ受ル所ニ
 集ヒ來リシカバ法官ハ彼等ガ「コドラト」ヲ論說シテ教ニ反
 離セシムルナラント思ヒシニ豈ニ謀ラシヤ反テ其ノ説破
 スル所トナリタリ
 聖「コドラト」反離セシ人々ヲ責テ曰ク不幸ナル人々ヨ爾等
 何チカ爲セシヤ豈ニ爾等ハ死者ノ復活シテ永生アルトチ
 信セザルカ何ノ故ニ限リアル今世ノ生命ノ爲メニ天國ヲ

失フテ意トセザリシヤ若シ爾等ハ主ガ身ヲ殺シテ魂ヲ殺ス能ハザル者ハ之ヲ懼ルハ勿レ軍ハ能ク身ト魂トヲ地獄ニ壞ル者ヲ懼レヨ(馬太十章二十八節)ト謂ヒ玉ヒシヲ忘レシ乎ト諸「ハリステイアニソ」此ノ言ヲ聞キ跪キ痛悔ノ涙ヲ流シテ曰ク「ハリステイアノ僕ヨ我等ハ苦難ヲ怖レタリ我ガ罪ハ我等ヲ震動シタリ我等ハ片時ノ生命ヲ救ハントシテ却テ永遠ノ生命ノ爲メニ死セリ」トコドラトハ背教者カ誠心ニ悔ユルヲ見テ己レノ苦ヲ忘レ大ニ喜ヒ彼等ニ謂テ曰ク兄弟ヨ望メ失フコ勿レ主ハ仁慈ナリ悔改ノ涙ヲ以テ主ニ祈禱シ堅ク其ノ聖名ヲ承認シ己レノ血ヲ以テ爾等ノ大罪ヲ洗ヒ雪

ケヨ主ハ必ズ爾等ヲ赦サント斯クテ「ハリステイアニソ」等大ニ慟哭シテ主ニ祈リシカ法官ハ異教ノ神殿ノ中ニ在リ之ヲ聞キ更ニコドラトヲ苦シマシメ火ヲ以テ其ノ創ヲ燒カシメタリ然ルニ魂ノ欣喜ト愛隣トニ盈サレシ聖致命者ハ泰然トシテ苦難ヲ受ケ主ヨ我ガ魂ヲ彼等ノ魂ノ爲メニ取リ彼等ヲ憐恤セヨト祈リケレハ先キニ背キシ諸信者ハ大ニ力ヲ得テ皆熱切ニ主ニ祈リシカ此ノ時休徵、天ニ顯ハレ衆天軍之ト共ニ祈リ且ツ異光アリテ諸信者ヲ輝カセリ是ニ於テ裁判官ハ諸信者ヲコドラトト借ニ獄舎ニ囚シタリ次日ニ至リ裁判官ハ彼等ヲ己レノ家ニ召ヒ諸神ニ獻祭ス

ヘキヲ命シケルモ諸信者皆固ク己レノ信仰ヲ守リテ從ハ
 ザレハ皆ナ死刑ニ處スベキヲ命シタリ諸信者皆大ニ欣ビ
 刑ヲ受ケ各々己レノ故里ニ於テ烙殺セラレタリベレンニ
 イハ獨リコドラトヲ携ヘテ諸邑城ヲ引キ廻シ到ル所ニ之
 ナ苦シメタルモ致命者ノ堅信ヲ動カス能ハザルノミナラ
 ズ反テ其ノ信ノ堅キヲ見テハリストスヲ信スル者益々多
 ナ加ヘタリシカバ遂ニゲルレスポントノ地ニ於テ刎首シ
 タリト云

紀念 廿三日

○我等ノ父イエルサリムノ總主教聖ソフロニイノ

偽教師等ニ抗抵シテ熱心銳意ニ正教ヲ保護シタル聖ソフ
 ロニイハ第六世代ノ比ダマスク城ニ生レ富貴ナル紳士ノ
 子ナリ少年ノ時ヨリ穎敏ニシテ高尚ナル智徳ヲ備ヘ銳意
 ニ聖書ヲ學ヒ後主イエイススハリストスノ聖蹟ヲ巡拜シイ
 エルサリム近傍ノ修道院ヲ訪ヒ成徳ナルフエオドニイノ大
 修道院ニ至リ虔敬ナル修士イオアンモスフト交リテ結ヒ
 遂ニ其ノ弟子トナリ借ニ遠ク四方ニ遊ハント欲シ相伴ヒ
 テパレステイナノ隱士ヲ訪ヒ次テエギペト、シリヤノ諸地ヲ
 廻クリ諸隱士ノ一生ト功德ヲ筆記シ「リモナル」(靈魂ノ牧場)
 ト題セル一ノ書ヲ顯ハセリ暫時ノ間アンタイオヒヤニ留マ

リ後アレキサンドリアニ至リ聖総主教仁慈ナルイオアン
 ノ傍ニ居テ其ノ勤勞ヲ助ケ是ニ於テソフロニイ削髮シテ
 修士トナリ聖致命者キール及ヒイオアンノ聖軀ノ傍ニ休
 徵ノ顯ハル、アリテソフロニイ曾テ病ミシ眼病忽チニッ
 痊ルヲ得タリ
 此ノ時ニ當リテ種々ノ艱難ノ事アリテ教會ノ秩序ヲ紊乱
 シタリイニエルサリムハペルシヤ人ノ手ニ歸シ且ツ救主ノ
 寶血ヲ流シタル至聖ナル十字架ヲ奪ヒ總主教ザハリヤヲ
 モ擄シタリ加之ナラズ一方ヨリハ偽教起リテ信者ヲ搖動
 シ且ツペルシヤ人ハ進テアレキサンドリアヲ侵シ聖総主

教仁慈ナルイオアンハ難チ他方ニ避ケサル能ハスソアレ
 キサンドリアヲ出ツイオアンモスフ、ソフロニイト僭ニ之
 ニ隨行シテ其ノ終焉ノ時ニ至レリ是ヨリソコンスタンティ
 ノーポリヲ經テロマニ至リシガ此ニイオアンモスフ世ヲ逝
 リシカハソフロニイ其ノ遺骨ヲ負フテバレステナニ歸リ
 是ヨリソ銳意ニ皇帝イラクリイアレキサンドリアノ總主
 教キール及ヒコンスタンティノポリノ總主教セルギイノ保
 護セル岐教「モノフェリト」聖マシムノ傳ヲ參看スヘシニ抗
 抵シテ其ノ邪說ヲ拒キタリ
 降生六百二十九年總主教ザハリヤイニエルサリムニ歸リ再

大ヒ總主教ノ職位ニ上リ次テモデスト總主教トナリ教會
 ヲ治理スルヲ二年ナリシカ其ノ後、異口同音ニソフロコイ
 ヲ擇ヒテ總主教ニ擧ケタリ彼レ急ニ偽教ヲ防カン爲メコ
 イエルサリム城ニ公會ヲ開キ教會ノ眞理ヲ書シタル公書
 ナ分遣セシ等ノ勤勞アリシコモ係ハフズ岐教尙ホ久シク
 教會ヲ動カシタリ此ノ岐教ヲ拒キ銳意ニ眞理ヲ保護シタ
 ル人々ノ中最モ著名ナルハ表信者聖マクシム及ビロマノ
 「パーバ」聖マルティン(四月廿六日)ニシテ彼等二人ハ遂ニ正教
 ノ爲メニ致命シテ榮冠ヲ戴キタリ
 降生六百三十六年ソフロコイカ總主教ヨリシ時イエルサ

リムハ回々教徒ノ陷イル所トナリタリ是ヨリ先キ敵ノ將
 軍「カリフ」オマルハ城ヲ回ミシカ聖總主教ノ勸言ニヨリ城
 民四月ノ間苦戰セシモ遂ニ敵ノ銳鋒ニ當ル可カラザルヲ
 知り和ヲ結ハソフヲ請ヒケレバオマルハ城ニ入り聖總主
 教ソフロコイト和議ヲ結ビ「ハリスティア」ノ聖堂ヲ毀タ
 ズ且ツ「ハリスティア」ヲ犯カサル約ヲ爲シタレヒイエ
 ルサリム城ハ遂ニ回々教徒ノ有トナリタリ是ニ於テオマ
 ルハソフロモンノ造營セシ神殿ノアリシ所ニオマルノ「メナエ
 テ」ト稱シテ今日尙ホ著名ナル「メナエ」ヲ造營セリオマルハ
 死ニ至ル迄降生六百四十一年ニ溢然トシテ世ヲ逝リタル

聖總主教ニ尊敬ヲ表シタリ
 聖ソフロニイハ教訓ノ文章數篇ト奉神禮儀ノ註解エギベ
 トノマリヤノ傳キール及ビイオアンノ奇蹟ノ記、教會ノ讚
 美歌數章及ビ公書等アリ而シテ是ノ公書ノ如キハ「モノフェ
 リト」ノ岐教ヲ闢除センカ爲メニ開カレタル第六聖全地公
 會ニ於テ全ク聖使徒ノ教ニ符合セシ説タリト議定セラレ
 タリ

○スミルナノ司祭、神品致命者ピオニイノ苦難同日

聖使徒パウエルハ吾人ニ誨ユルニ諸聖人ヲ尊敬スヘキヲ以
 テシテ曰ク爾等ヲ導クハ師即チ神ハ通チ爾等ニ傳フル者

ハ爾等宜シク之ヲ念フヘシ、其ハ終焉ヲ觀テ、其ハ信ニ效ラ
 ハシト(エウレイ)昔時ノ「ハリステイアニ」等ハ此ノ誠ヲ守リ

ハリステス教ノ爲メニ生命ヲ致セシ聖ナル人々ノ善行ト
 終焉ヲ書スルノ風習アリ此ノ記録ハ「ハリステイアニ」等ノ
 爲メニ甚タ良キ龜鑑ナリキ司祭ピオニイハ斯クスミルナ
 ノ主教聖ポリカルブノ傳ヲ記シタリ彼レハ自ラ動カザル
 信仰ト堅キ志ノ龜鑑ヲ顯ハシポリカルブト同ク潔ヨキ行
 チ爲シ致命シテ後ノ人々ニ敬フヘキ紀念ヲ遺シタリ後チ
 彼ノ傳ヲ記セシ者曰クピオニイノ紀念ヲ敬ヘヨ蓋シ彼レ
 多クノ人ヲ惡魔ノ誘ヨリ救ヒテ之ヲ神ニ就カシメ主ノ爲

ニ致命シテ榮冠ヲ戴キ己レヲ以テ潔キ行ノ龜鑑ヲ遺シタ
 リ人皆常ニ彼ノ教ヲ念ヒ其ノ行ニ效ハザル可カラズト
 主教聖ボリカルプカスミルナニ居ルイウデヤ人ノ讒言ニ
 テ苦ミヲ受ケ致命シテヨリ既ニ八十余年ノ久シキヲ經タ
 レヒイウデヤ人ト異教人ハハリストスノ正教ヲ忌ミ嫌フ
 舊ノ如クニシテ止マサリキ
 斯クテ降生二百四十九年羅馬帝デキイノ時ニ至リ大ナル
 窘逐起リケレハ異教人ハ「ハリストニアニシ」ヲハリストスニ
 リ離シ或ハ裁判ニ付セント大ニ騒キケレハ數人ノ「ハリス
 テニアニシ」ハ其ノ窘逐ヲ忍レ眞神ニ背キテ異教ノ諸神ニ獻

祭スルヲ諾フニ至レリ斯ル輩ハ同信者ノ爲メニ大ニ歎カ
 ル、ノミナラス異教ノ人々ニモ其ノ怯弱ナルカ爲メニ甚
 タ卑メラレタリ

此ノ時ニ當テスミルナ城ニ品行善良ニシテ大ニ人々ノ譽
 ト敬トテ得タル一司祭ピオニイト稱スル者アリカ、ル恐
 ル可キ窘逐ニモ敢テ驚カス運命ヲ天ニ任せ神ノ言ヲ傳ヘ
 ハリストスノ救ヒヲ説キテ止マザリケリ然ルニピオニイ
 ハ神品致命者聖ボリカルプノ紀念祭ノ日ニハ「ハリス
 テニアニシ」アスクリプト云ヘル人ト異教人ノ婢トナリ居リ
 シ「ハリストニアニシ」サウナト云ヘル婦ト偕ニ必ス捕ハルヘ

シトソコナ聞キタレト少シモ之ヲ恐レヌ蓋ハ此ノ二人ハ
 初ヨリ自ラ己レノ首ニ細キ繩ヲ掛ケ心ヲ變セズ反離セズ
 シテハリストスノ聖名ノ爲メニハ喜テ獄舎ノ苦ミ辛キ死
 刑ヲモ受ルノ印ト爲シテ異教人ニ示シタレハナリ
 斯クテ祭日ニ至リタレハアスタリプ及ヒサウイナノ二人ハ
 司祭ピオニイノ家ニ至リテ神品致命者ノ祭リヲ爲シ互ニ
 安心シテ語りケル時、異教ノ神官ノ長ボレモンナル者兵士
 ナ率井來リピオニイ等ニ謂フテ曰ク爾等ハ帝ノ新令ヲ知
 ラザルヤ帝ハ爾等ニ我等ノ諸神ニ獻祭スヘキヲ命セシコ
 アラズヤト

ピオニイ之ヲ聞キ泰然トノ答テ曰ク我等ハ唯我等ノ眞神
 ノ誠命ヲ知ルノミ其ノ誠中ニ唯一ノ神ヲ拜スヘキヲ命シ
 玉ヘリボレモン曰ク果ソ然ラハ爾等先ツ我等ト偕ニ市ニ
 行ケ彼所ニテ我等ノ諸神ノ拜セサルベカラザルヲ悟ラシ
 メント

斯クテ三人ノ「ハリステイア」等ボレモン及ヒ兵士ノ後ニ
 從ヒ往キケレハ途ニ多クノ人々ハ彼等カ徒容トシテ市ニ
 至ルヲ見テ大ニ驚キ怪ミタリ頓テ市ニ至リケレハ彼所ニ
 集會セシ夥多ノ異教人トイウテヤ人等ハ大ニ憤怒シテ「ハ
 リステイア」等ヲ處刑シ若クハイイススハリストスヨリ

反離セシメシヨヲ促カセリ
 ポレモン又ヒオニイニ勸メテ曰ク「ハリスティアコン」ノ中多
 クノ人々ノ爲セシカ如ク爾モ皇帝ノ命ニ從ヒ祭ヲ獻ズヘ
 シトヒオコイ直ニ之ニ答ヘスシテ群カリ居リシ人々ニ向
 ヒテ曰クスミルナ及ヒイウデヤノ人々ヨ我レ聞ク一人ノ
 「ハリスティアコン」ニシテ諸神ニ祭獻セント諾セシ者ハ爾等之
 ナ喜ビ且ツ嘲リ笑フト然レモ彼ノ人ハ己レノ本心ヨリ祭
 ナ獻セシニアラズ爾等ノ壓抑、強迫ニヨリテ止テ得スシテ
 獻セシナリ然ラハ爾等ハ猶ホ嘲リ笑フヘキカ豈ニ大ナル
 罪惡ニアラズヤ爾エルリン人ヨ我カ都府スミルナニ於テ

大ニ其ノ名ヲ揚ケシ詩人ノ言ヲ記憶セシナラン曰ク人ハ
 沈淪ハ決シテ喜ブベキトニアラスト（按スルニグレナヤノ
 名高キ詩人ゴメルナ
 ラン彼ハスミルナ）且ツイウデヤ人ヨ爾等モ亦神ノ預言者
 ニ生レタル人ナリ）モイセイノ言ヲ記憶セヨ曰ク若シ爾ヲ恨ム者ハ驢馬、重ヲ
 負フテ地ニ倒ル、ヲ見ハ之ヲ遺テスハ速ニ其ノ荷ヲ釋ケ
 ヲト（出記、二節）又ソロモンノ言ニモ爾ハ仇敵ハ蹟キシ時爾
 ハ心ヲ喜ハシムルナカレト（箴言、廿四節）云ヒシニ非ズヤ我
 等何ソ敢テ踟躇セン我カ神ノ誠命ヲ犯サンヨリハ死シテ
 之ヲ守ルニ若カザルナリ然レト爾イウテヤ人ヨ何故ニ我
 等ヲ嫌忌シテ嘲リ笑フヤ若シ爾等ノ云フカ如ク或ハ我等